

www.faronics.com



最新更新日:2023年1月

© 1999 – 2023 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics, Deep Freeze, Deep Freeze Cloud, Faronics Deploy, Faronics Core Console, Faronics Anti-Executable, Faronics Anti-Virus, Faronics Device Filter, Faronics Data Igloo, Faronics Power Save, Faronics Insight, Faronics System Profiler, は Faronics Corporationの商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

序义	7
重要な情報	8
Faronics について	8
	8
テクニカルサポート	9 9
用語の定義	10
はじめに	.1
Faronics Core の概要	12
Faronics Core について	12
Faronics Core Server と Faronics Core Database の要素	13
いて、 シフニノ 亜州	15
Faronics Core Server の要件	15
Faronics Core Console の要件	15
Faronics Core Database の要件	15
ワークステーションの要件....................................	16
Faronics Core のインストール 1	.7
インストール概要....................................	18
Faronics Core のインストール	19
Faronics Core Console へのアクセス	21
Faronics Core Setup による Faronics Core の	
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定	3
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定	2 3
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定	24 24
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定	24 24 24 25
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Bip	24 24 25
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Bip	24 24 25 1 32
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Bip	24 24 25 31 32 33
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Faronics Core Setup	23 24 24 25 1 32 33 34
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Faronics Core Setup	23 24 24 25 31 32 33 34 35
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Bip (1) 2 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ)	2 4 2 4 2 4 2 5 3 1 3 2 3 3 3 4 3 5 7
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Faronics Core Setup … 7 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ)… 7 Faronics Core Setup の設定手順(カスタムセットアップ)… 7 Faronics Core Console の手動設定 3 Faronics Core Server への接続 7 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 7 [aンソール] タブ 7 Faronics Core Server の手動設定 7 「バージョン情報] タブ. 7 概要. 7	24 24 25 31 32 33 34 35 34 35 37 38
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Faronics Core Setup 2 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ)	23 24 25 1 32 33 4 35 7 38 39
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Faronics Core Setup	23 24 24 25 1 32 33 34 35 7 38 39 39
Faronics Core Setup による Faronics Core の 2 Bige 2 Faronics Core Setup 0 3 Faronics Core Console の手動設定 3 Faronics Core Server への接続 3 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 3 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 3 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 3 [バージョン情報]タブ 3 #要 3 [サーバー]タブ 3 アクション動作の設定 3 [データベース]タブ 3	23 24 25 32 33 33 35 37 38 39 39 39 42
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定 2 Faronics Core Setup 2 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ). 5 Faronics Core Setup の設定手順(カスタムセットアップ). 5 Faronics Core Console の手動設定 3 Faronics Core Server への接続. 5 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 5 [Iaンソール]タブ 5 [バージョン情報]タブ. 5 Faronics Core Server の手動設定 3 概要. 5 [サーパー]タブ. 5 アクション動作の設定. 5 [データベース]タブ. 5	23 24 24 25 1 32 33 34 35 7 38 39 42 43
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定 2 Faronics Core Setup 2 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ). 7 Faronics Core Setup の設定手順(カスタムセットアップ). 7 Faronics Core Console の手動設定 3 Faronics Core Server への接続 1 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 1 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 1 [「コンソール]タブ 1 [バージョン情報]タブ 3 概要 1 [サーバー]タブ 7 アクション動作の設定 1 [データベース]タブ 2 WOL Web サービスの設定 4	23 24 25 1 32 33 34 35 7 38 39 39 42 43 43 5 7 43 43 5 7 43 43 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定 2 Faronics Core Setup 2 Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ). 7 Faronics Core Setup の設定手順(カスタムセットアップ). 7 Faronics Core Console の手動設定 3 Faronics Core Server への接続 1 [Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ 1 [aンソール]タブ 1 [vi - ジョン情報]タブ 3 Faronics Core Server の手動設定 3 概要 1 [サーバー]タブ 7 アクション動作の設定 1 [データベース]タブ 1 WOL Web サービス つ設定 1 リモート WOL 電子メールの作成を使った電子メールの送信 1	2 4 2 4 2 5 1 3 2 3 3 3 4 3 5 7 3 8 3 9 1 2 1 3 3 4 3 5 7 3 8 3 9 1 2 1 3 1



ハーション情報 タフ 4/	
Faronics Core Agent インストーラ Faronics Core Agent インストーラの作成	
詳細オプションの使用	
Faronics Core のセキュリティ	
公開鍵のエクスポートとインポート	
秘密鍵のエクスポートとインポート	5
セキュリティ証明書のエクスポート	
セキュリティ証明書のインホート	
Faronics Core で使用されるボート	
Wake-On-LAN	
Faronics Core Agent の配備	
Faronics Core Console でのアンマネージドなワークステーションの	検出 5
ローカルネットワーク上でのアンマネージドなワークステーションの材	後出
LDAP を使ったアンマネージドなワークステーションの検出	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Console を使った Faronics Core Agent の配備	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ワークステーションへの Faronics Core Agent の手動による配備 (アテンデッドインストール)	
Faronics Core Console でのワークステーションの表示	
Faronics Core Server の変更	
所有権の変更	
所有権の獲得	
Faronics Core Console の使用	
Faronics Core Console のレイアウト	
Epropies Core Concolo 7 — # _ / \/ A _ 7 + / 7 M 7 \/ # _ + > / L	-
Falonics core console $x - y - 1 y - 2x - 2x + x - x - x - x - x - x - x - x - x - $	
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンパーネンド	
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理ユーザーの作成	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーロールの許可	
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーロールの許可 ユーザーの編集	
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーロールの許可 ユーザーの編集 ユーザーの編集	
Faronics Core Console ユーサーイ フォーフェイ スのコフホーネファ Faronics Core Console のアクションペイン	
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 コーザーの名集 ユーザーの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 静的カスタムワークステーショングループ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 コーザーのの作成 コーザーの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 静的カスタムワークステーショングループ 混在カスタムワークステーショングループ	
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーロールの許可 ユーザーロールの許可 ユーザーの編集 ユーザーの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 静的カスタムワークステーショングループ 混在カスタムワークステーショングループ アクションのスケジュール設定	
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの作成 ユーザーのの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 静的カスタムワークステーショングループ 混在カスタムワークステーショングループ アクションのスケジュール設定 タスクがスケジュール設定されたワークステーショングループの	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーリーインダーフェイスのコンボーネンド Faronics Core Console のアクションペイン ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 静的カスタムワークステーショングループ アクションのスケジュール設定 タスクがスケジュール設定されたワークステーショングループの スケジュール設定されたアクションの表示、編集、再実行、キャン	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンボーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
Faronics Core Console ユーザーオンダーフェイスのコンボーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	
Faronics Core Console ユーザーインダーフェイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	 マート起動する マート起動する マート起動する マート記動する マートにのなどの マートにのないので、 マートにのないので、 マートののので、 マートののののので、 マートのののののののののののののののののののののののののののののののののののの
Paronics Core Console ユーザークションペイン. ユーザーとロールの管理 ユーザーの作成 ユーザーロールの許可 ユーザーの有効化または無効化 カスタムワークステーショングループ 動的カスタムワークステーショングループ 崩的カスタムワークステーショングループ 混在カスタムワークステーショングループ アクションのスケジュール設定 タスクがスケジュール設定されたワークステーショングループの スケジュール設定されたアクションの表示、編集、再実行、キャンレポートの電子メール送信、印刷、および名前の変更 レポートの電子メール送信、印刷、および名前の変更 ワークステーションに関する注意事項の作成 ワークステーションどのの ションシのの	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
Partonics Core Console ユーザーインタークエイスのコンホーネンド Faronics Core Console のアクションペイン	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、



アラートの設定
Faronics Core Agent の設定
Faronics Core Console 2.x から Faronics Core 3.0 へのアップグレード
Faronics Core Agent のアップグレード103
Faronics Core のアンインストール 105
ワークステーションから Faronics Core Agent のアンインストール
インストーラを使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のアンインストール 107
[プログラムの追加と削除] を使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のアンインストール
Faronics Core Console のアンインストール(データベースを含む)
付録 A 単一のサブネット、単一の Faronics Core Server
付録 B 単一のサブネット、複数の Core Server
付録 C 複数のサブネット、複数の Core Server
付録 D カスタムのワークステーショングループのための文節エディタ 116

6 目次





Faronics Core により、Faronics のソフトウェアソリューションを企業全体に配備し管理することができます。

トピック

重要な情報 テクニカルサポート *用語の定義*





このセクションにはお客様の Faronics 製品についての重要な情報が記載されています。

Faronics について

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界屈指のソリュー ションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント確保するこ とで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機関、 図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロ ジー改革を有効に御使用頂いています。

製品マニュアル

Faronics Core のマニュアルは、次のマニュアルで構成されています:

- Faronics Coreユーザーガイド このマニュアルでは製品の使用方法を説明します。
- Faronics Coreリリースノート このドキュメントには新しい機能、既知の問題、解決された 問題が記載されています。
- Faronics Core readme.txt このドキュメントではインストールプロセスを説明します。

テクニカルサポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。 万が一、問題が発生した場合は、テクニカル サポートまでご連絡ください。

電子メール : support@faronics.com

電話番号:800-943-6422または604-637-3333

営業時間:午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

お問い合わせ

- Web: www.faronics.com
- 電子メール: sales@faronics.com
- 電話番号:800-943-6422または604-637-3333
- ファックス: 800-943-6488または604-637-8188
- ・ 営業時間:午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)
- 住所: Faronics Technologies USA Inc.
 2411 Old Crow Canyon Road, Suite 170 San Ramon, CA 94583 USA

Faronics Corporation 609 Granville Street, Suite 1400 Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada

Faronics Corporation (ヨーロッパ) Siena Court The Broadway Maidenhead Berkshire, SL6 1NJ UK



用語	定義
Faronics Core Agent	ワークステーションにインストールされ、ワークステーションと Faronics Core Databaseとの通信を可能にします。
Faronics Core Console	Core Serverとワークステーションを管理してモニターするために使用する ユーザーインターフェイスです。
Faronics Core Database	ワークステーションリストが保存されているデータベースです。
Faronics Core	Faronics Coreは、Faronics Core Console、Faronics Core Server、Faronics Core Database、およびFaronics Core Agentで構成されます。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)は、インターネットプロトコ ル (IP) ネットワークで実装されたディレクトリサービスのデータをクエ リーおよび変更するためのアプリケーションプロトコルです。
Loadin	Product Loadinは、Faronics Coreに新規製品専用の機能を追加するソフト ウェアライブラリです。
MAC	Media Access Control Address (Mac アドレス)または Ethernet Hardware Address (EHA)。ハードウェアアドレス、アダプタアドレス、または物理ア ドレスは、識別のために、製造者によってほとんどのネットワークアダプ タまたはネットワークインターフェイスカード (NIC) に割り当てられる準 固有の識別子です。製造者によって割り当てられた場合、通常MACアドレ スは製造者の登録識別番号をコード化しています。
同期タスクの ステータス	Faronics Core Serverは、タスクが一旦起動したら、タスクのステータスを 推定するのではなく、ワークステーションのタスクを常にモニターして アップデートし、信頼できるタスク完了結果を管理者に提供します。
StorageSpace	StorageSpaceはワークステーション上の Faronics Core Agentによって作成 される「マップ済みのドライブ」です。LoadinデータがStorageSpaceに保 存されます。
UAC	User Account Control (UAC)は Microsoft Windows Vistaオペレーティング システムで導入された技術とセキュリティのインフラストラクチャです。 管理者が権限レベルを上げるまで、標準ユーザー権限に対してアプリケー ションソフトウェアを制限することによって、Microsoft Windowsのセキュ リティを高めます。
Wake-on-LAN	Wake-on-LAN (WOL) は、ネットワークメッセージによってコンピュータ を起動またはウェイクオンできる、Ethernet コンピュータネットワーキン グの仕組みです。



はじめに

本章では、Faronics Coreの概念、コンポーネント、システム要件について説明します。

トピック

Faronics Core の概要 システム要件



Faronics Coreの概要

Faronics Core について

Faronics Core により、Faronics のソフトウェアソリューションを企業全体に配備し管理することができます。Faronics Core では、1箇所の場所から複数のワークステーションをモニターおよび管理することができます。管理しているワークステーションの現在の状況を表示し、それらの中から1台以上のワークステーションにコマンドを適用することができます。Faronics Core の基本機能は、Product Loadin をインストールすることによって拡張されます。Loadin により、Faronics Core 機能に製品専用のステータス、アクション、レポート機能が追加されます。

Faronics Core には、次のコンポーネントがあります。

- Faronics Core Console (UI層) Core Serverとワークステーションを管理してモニターするために使用するユーザーインターフェイスです。Faronics Core Consoleの1つのインスタンスから複数のCore Server に接続できます。
- Faronics Core Server (論理層) ワークステーションの管理、タスクの処理、および Faronics Core Consoleとワークステーションの通信がFaronics Core Serverによって行われます。
- Faronics Core Database (データ層) ワークステーションリストとワークステーションに関 する情報が保存されるデータベースです。
- Faronics Core Agent ワークステーションにインストールされ、ワークステーションと Faronics Core Databaseとの通信を可能にします。

次の図は、Faronics Core のさまざまなレイヤーを示しています。



Faronics Core Console から Faronics Core Database、Faronics Core Database から Faronics Core Agent の間には別の通信パスがあります。

Faronics Core Console から Faronics Core Server への接続の確立については、本書の「」という セクションで説明しています。Faronics Core Server への接続。



Faronics Core Agent から Faronics Core Server への通信の確立については、本書の「」というセクションで説明しています。Faronics Core Agent インストーラ。

Faronics Core Server と Faronics Core Database の要素

Faronics Core Server	Faronics Core Database
アクション動作	ワークステーションリスト
カスタムワークステーショングループ	ワークステーションのステータスとイベント履歴
スケジュール設定されたタスク	IP、MACアドレス、ドメイン、およびサブネット
データベース接続を含む構成設定	各ワークステーションのオペレーティングシステム
LDAP証明書	ユーザーとロール

次の図は、Faronics Core 内の要素を示しています。



Product Loadin について

Faronics Core は、基本的な管理機能を実装しています。その主な役割は、他の Faronics 製品を 管理するための共通のプラットホームを提供することです。これは、Product Loadin をインストー ルすることで実現されます。Product Loadin は、Faronics Core に新規製品専用の機能を追加する ソフトウェアライブラリです。

Faronics Core を使用する製品は、2つのメインコンポーネントで構成されます。ワークステーション クライアントは、ワークステーション上にインストールされた実際の製品専用の機能です。Product Loadin は、Faronics Core Server にのみインストールされ、さまざまなワークステーション上に インストールされたワークステーションクライアントを管理することができます。

Product Loadin によって追加された製品専用の機能は、次の 4 つの方法で Faronics Core の基本 機能を拡張します。



• プロパティタブ

メインの Faronics Core Server ノードを右クリックして、[プロパティ]を選択すると、[プロ パティ]ウインドウが表示されます。Loadin により、このウインドウに一般的な製品設定の ための新しいタブが追加されます。

ワークステーションの列

Product Loadin により、メインワークステーションのペインにステータスを示す新しい列が 追加されます。この列の値には、製品がインストールされているワークステーションにより 特定のデータが入力されます。

• アクション

Product Loadin により、選択したワークステーション上で実行可能な新しい製品専用のアクションが追加されます。

レポート

Product Loadin により、ワークステーションからデータベースにレポートされたデータを編 集し、レポートを作成する機能が追加されます。作成されたレポートは、コンソールツリー ペインの[レポート]ノードに表示されます。

Faronics Core は、同時に複数の Product Loadin のホストとして機能し、並行してすべての製品 を管理することができます。

特定の Product Loadin のインストールおよびアンインストールに関する詳細は、特定の Product Loadin のマニュアルを参照してください。



次の図は、Loadin がインストールされた Faronics Core を示しています。



本書に示されている Loadin は、Faronics Core のインストールの一部ではありま せん。Loadin は別途ライセンスされて、インストールされます。



Loadin は、Faronics Core Console からインストールし、Faronics Core Server に インストールされます。Faronics Core Console がFaronics Core Server に接続され ると常に、Faronics Core Server上のLoadinのバージョンがFaronics Core Console で更新されます。



Faronics Core とそのコンポーネントのシステム要件は、次のとおりです。

Faronics Core Server の要件

システム要件

Faronics Core Server をインストールするには、次のシステム要件に対応している必要があります。

- ・ Windows 10 および Windows 11
- ・ Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022
- サーバーには Windows Installer (MSIEXEC) 4.5 および Microsoft MMC 3.0 が必要で、これら は別途インストールしなければなりません(これらのコンポーネントが不足している場合、 Faronics Core インストーラによりダウンロードページが示されます)。
- サーバーには Microsoft .NET 3.5 SP1 も必要です(このコンポーネントが不足している場合、 Faronics Core インストーラによりダウンロードおよびインストールできます)。

Faronics Core Console の要件

システム要件

Faronics Core Console をインストールするには、次のシステム要件に対応している必要があります。

- ・ Windows 10 および Windows 11
- ・ Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022
- コンソールには Windows Installer (MSIEXEC) 4.5 および Microsoft MMC 3.0 が必要で、これらは別途インストールしなければなりません(これらのコンポーネントが不足している場合、Faronics Core インストーラによりダウンロードページが示されます)。
- コンソールには Microsoft .NET 3.5 SP1 も必要です(このコンポーネントが不足している場合、Faronics Core インストーラによりダウンロードおよびインストールできます)。

Faronics Core Database の要件

システム要件

サポートされた次のエディションのいずれかが必要です。

- Microsoft SQL Server 2008 R2(すべてのエディション)
- Microsoft SQL Server 2012 (すべてのエディション)
- Microsoft SQL Server 2014 (すべてのエディション)
- ・ Microsoft SQL Server 2016 Express または Microsoft SQL Server 2016 R2 Express



- ・ Microsoft SQL Server 2019 (すべてのエディション)
- Microsoft SQL Server 2022 (すべてのエディション)



Microsoft SQL Server 2016 Express は、Faronics Core Console に付属しており、 500 台までのコンピュータへのインストールに十分適しています。Express エ ディションを 500 台から 1,000 台のコンピュータへのインストールに使用する ことはできますが、パフォーマンスに問題が起こる可能性があります。1,000 台 以上のコンピュータへのインストールには、SQL Server の Standard バージョン または Enterprise バージョンの使用を強く推奨します。



Faronics Core で使用する Microsoft SQL Server は、Faronics Core Server コン ピュータにローカルでインストールして使用することができます (インストーラ に付属の 2016 R2 Express をインストールすると、ローカルになります)。ただ し、10,000 台のコンピュータを超える大規模な配備には、リモート SQL Server インスタンスへの接続を強く推奨します。

ワークステーションの要件

システム要件

Faronics Core Agent は、次の Microsoft Windows オペレーティングシステムが実行されている コンピュータにインストールすることができます。

- ・ Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 および Windows 11
- ・ Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022
- システムディスク上の800 MBのハードディスク空き容量



Faronics Core Agent 3.2 (またはそれ以降)は、Deep Freeze 7.0 (またはそれ以降) のみと互換性があります。ワークステーションで以前のバージョンのDeep Freeze を実行している場合、Faronics Core Agent をアップグレードする前に、Deep Freeze 7.0 にアップグレードします。



Faronics Core のインストール

本章では、Faronics Core のインストールについて説明します。

トピック

インストール概要 Faronics Core のインストール



インストール概要

Faronics Core Console をインストールして設定するには、次の手順が必要です。

- Faronics Coreの必須コンポーネントのインストール(「システム要件」を参照)。
- Faronics Core (Faronics Core Console、Faronics Core Database、および Faronics Core Server) のインストール
- Faronics Core Consoleへのアクセス

Faronics Core のソフトウェア要件が満たされてない場合、インストーラにより必要なコンポー ネントがダウンロードおよびインストールされるか、またはそれらをダウンロードできる場所が 指示されます。

ダウンロードまたはインストールされる必須のコンポーネント:

- SQL Server $\mathbf{v} \mathbf{x} \mathbf{r} \mathbf{b} \mathbf{C} \mathbf{L} \mathbf{R} \mathbf{p} \mathbf{d} \mathbf{r}^2 2016 \mathbf{R} \mathbf{2}$
- Microsoft SQL Server 2016 R2管理オブジェクト
- SQL Server Client 2016 R2

インストール中にブラウザで開くダウンロードサイト (これらのコンポーネントをインストール 後、Faronics Core インストーラを手動で再起動する必要があります):

- Windows Installer (MSIEXEC) 4.5 以上
- MMC 3.0 以上

Faronics Core Console を初めて実行すると、Faronics Core Setup が自動的に起動します。詳細は、 「Faronics Core Setup」のセクションを参照してください。



Faronics Core のインストール

Faronics Core は、インストールウィザードを使ってインストールします。Faronics Core をイン ストールするには、次の手順を実行します。

1. FaronicsCore.exe ファイルをダブルクリックして、インストールプロセスを開始します。



2. 使用許諾契約書を読み、同意します。[次へ]をクリックして、続行します。

🚽 Faronics Core 3 - InstallShield Wiza	rd 🗾
使用許諾契約	
次の使用許諾契約書を注意深くお読	ಹಿ(ಜಿಕೆಲು.
Faronics Core	A
FaronicsCorporation © 1999-2011 All Rights Reserved	
マスター ソフトウェア ライセ	2ンス契約
よくお読みください。本書は、	、お客様(一個人または一法人)、Microsoft
◎ 使用許諾契約の条項に同意します	‡(A)
◎ 使用許諾契約の条項に同意しませ	±ん(D)
nstallShield	バージョン 3.50.2100.3010
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 3. Faronics Core コンポーネントのインストールには、次の2つのオプションがあります。
 - 同じコンピュータに Faronics Core Console と Faronics Core Server の両方をインストール する場合、[Faronics Core Console と Server のインストール]を選択します。
 - コンピュータに Faronics Core Console のみをインストールするには、[Faronics Core Console のみのインストール]を選択します。Faronics Core Console と Faronics Core Server を2台の異なるコンピュータにインストールする場合、このオプションを選択します。



157 Paronin インスト Core (の両方	- Locare 3 - Installishietu ジョッティ ールタイプ Console (MMC Snapin)のみをインストールするが、Core ConsoleとCore Server でオンストールするかを選択します。
	 Core ConsoleとCore Serverのインストール このコンピュータにCore Serverをインストールする予定の場合、このオ プションを選択します。 Core Consoleのみのインストール このコンソールに既存のリモートCore Serverを接続する予定の場合、こ のオブションを選択します。
InstallShield	バージョン 3.50.2100.3010 <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

4. ローカルの SQL Server インスタンスを使用するには、[*Microsoft SQL Server 2016 R2 Express Edition* のダウンロードとインストール]を選択します。



Microsoft SQL Server 2016 Express は、Faronics Core Console に付属しており、 500 台以下のコンピュータへのインストールに十分適しています。Express エディ ションを 500 台から 1,000 台のコンピュータへのインストールに使用することは できますが、パフォーマンスに問題が起こる可能性があります。1,000 台以上の コンピュータへのインストールには、SQL Server の Standard バージョンまたは Enterprise バージョンの使用を強く推奨します。



Faronics Core で使用する Microsoft SQL Server は、Faronics Core Server コン ピュータにローカルでインストールして使用することができます (インストーラ に付属の 2016 R2 Express をインストールすると、ローカルになります)。ただ し、10,000 台のコンピュータを超える大規模な配備には、リモート SQL Server インスタンスへの接続を強く推奨します。

😼 Faronics Core 3 - InstallShield	Wizard
前提条件 前提条件をインストールする(こは、「)	\$27.150/1906.00
□ Microsoft SQL Serve 〜ルします。	er 2008 R2 Express Edition をダウンロードしてインスト
(リモートSQL Server(ールする必要はありま	こ接続している場合、SQL Serverをローカルでインスト ません)
現在インストール済る	א: SQL 2008 R2 Express Edition
	バージョン 3 50 2100 3010
InstallShield	71 737 3.30.2100.3010
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



5. インストール場所を指定し、[次へ]をクリックします。デフォルトは、C:\Program Files\ Faronics Core\Console です。ショートカットを追加するには、[デスクトップにショートカットを追加]チェックボックスを選択します。[インストール]をクリックします。

Faronics インストールら このフォルダは インストールろ	Core 3 - InstallShield Wizard をのフォルダ ものフォルダ ビインストールする場合は、「インストール」をクリックしてください。別のフォルダに する場合は、「変更」をクリックします。
Ø	Faronics Core 3 のインストール先: C:¥Program Files¥Faronics¥Faronics Core 3¥Console¥ 変更(C)
	▼ デスクトップにショートカットを追加
InstallShield -	バージョン 3.50.2100.3010
	< 戻る(B) インストール(I) キャンセル

6. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。Faronics Core Console がインストー ル処理を完了するために自動的に起動します。

🛃 Faronics Co	re 3 - InstallShield Wizard	X
	InstallShield ウィザードを完了しました	
Fa	ironics <mark>core</mark>	
	Faronics Coreが正常にインストールされました。設定を行う必要があ ります。 インストールブロセスを完了し、Faronics Core Consoleを開始するに は、「完了」をクリックします。	
	バージョン 3.50.2100	.3010
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセ	zılı

Faronics Core Console へのアクセス

[スタート]>[すべてのプログラム]>[Faronics]>[Faronics Core Console]を選択して、Faronics Core Console にアクセスできます。

また、デスクトップでショートカットを使用して、Faronics Core Console にアクセスすることも できます。





Faronics Core Setup による Faronics Core の 設定

本章では、Faronics Core Console、Faronics Core Server、および Faronics Core Database を設定 できる Faronics Core Setup について説明します。

トピック

Faronics Core Setup



Faronics Core Setup

Faronics Core Setup により、Faronics Core Console の設定、セキュリティ証明書の作成やバック アップ、最初の管理者作成、および Faronics Core Database の設定ができます。

Faronics Core Setup の設定手順(高速セットアップ)

1. Faronics Core Console を初めて実行すると、次の画面が表示されます。推奨されるオプション には、[高速]を選択します。[次へ]をクリックして、続行します。

aronics Core Setup	
Faronics <mark>core</mark>	www.faronics.com
Faronics Core	
ここで必要な設定ステップを説明します。 詳細	
設定の種類を選択	
◎ エクスプレス (最低限のオプションが表示されます)	
◎ カスタム (使用可能なすべてのオブションが表示されます)	
	<前へ 次へ> キャンセル

2. 新しい管理者を作成します。必ず最初の管理者アカウントを作成する必要があります。許可 されたユーザーのみが、Faronics Core を使って操作を行えます。最初の管理者アカウントか ら、他のユーザーアカウントを作成できます。



Faroni	cs <mark>core</mark>	www.faronics.com
Faronics Core 管	理者アカウントの設定	
Faronics Core Console を行 Core SQL データベースに行 詳細 Faronics Core 管理者ユー	管理するには、最初の管理者アカウントを作成する必3 立置し、他のユーザアカウントを定義する権限がありま -ザ:	要があります。このアカウントは Faronics す。
FaronicsCoreAdmin		
パスワード:	パスワードの確認:	
パスワードは 8~15 文字で	で、少なくとも1つの数字または特殊文字を含める必要	見があります。
パスワードは 8~15 文字で	で、少なくとも1つの数字または特殊文字を含める必要	見があります。
パスワードは 8〜15 文字で	で、少なくとも 1 つの数字または特殊文字を含める。必要	見があります。
パスワードは 8~15 文字で	で、少なくとも 1 つの数字または特殊文字を含める。必要	見があります。
パスワードは 8~15 文字で	で、少なくとも1つの数字または特殊文字を含める必要	見があります。
パスワードは 8~15 文字で	で、少なくとも 1 つの数字または特殊文字を含める。必要	見があります。

3. セットアップが終了したら、[完了]をクリックします。

Faronics Core Setup の設定手順 (カスタムセットアップ)

1. Faronics Core Console を初めて実行すると、次の画面が表示されます。[カスタム]を選択し ます。[次へ]をクリックして、続行します。





 セキュリティ証明書を作成またはインポートします。この例では、[新規証明書を作成 する]が選択されています。[次へ]をクリックします。Faronics Core のセキュリティ証明書 機能の詳細は、「Faronics Core のセキュリティ」のセクションを参照してください。

aronics Core Setup	
Faronics <mark>core</mark>	www.faronics.com
Faronics Core Server の証明書	
ここで必要な設定ステップを説明します。 詳細	
このコンピュータで実行中のFaronics Core Serveは、セキュリティ証明書でまだ設定され	にいません。
Faronics Core Serverの証明書: ● 新規証明書の作成	
◎ 既存の証明書を使用	
(前へ	(次へ) キャンセル

3. Faronics Core 証明書の名前を入力します。

Faronics Core Setup		
Faronics	ore	www.faronics.com
証明書のキーのエクスポー	`	
Faronicsのセキュリティ証明書は、	通信を暗号化または複合化するためにペアのキーを使	明はす。これらのキー
をバックアップするには、以下のオプ	というというというというというというというというという。	A1308 98 01 09091
詳細		
📃 保存または他のFaronics Core	Serversとの共有のために証明書(公開鍵および秘密)	鍵をエクスポートす
る場所:		
証明書のパスワード	証明書のパスワードの確認:	
パスワードは 8~15 文字で、	少なくとも 1 つの数字または特殊文字を含める必要が	あります。
2世逝れのFaronics Core Consoleがら	このFaronics Fore ServerA の接結を許可する分開鍵	はケークフポートする
場所:	CON dionics core server (0)1002 281 -1 9 8 2414192	
C:¥Users¥core¥FaronicsCore6.c	er	参照
	〈前へ	



- 4. 次のフィールドに値を入力します。
- 保存または他のFaronics Core Serverとの共有のために証明書(公開鍵および秘密鍵)をエクス ポートする場所 – 公開鍵および秘密鍵のバックアップを作成するには、このチェックボックス を選択します。[参照]をクリックして、パスを選択します。これは、複数のCore Serverで1つ のFaronics Core Agentからの通信を復号化しなければならないときに必要です。
- 証明書のパスワード 証明書のパスワードを入力します。
- 証明書のパスワードの確認 証明書のパスワードを再入力します。
- 複数のFaronics Core ConsoleからこのFaronics Core Serverへの接続を許可する公開鍵をエクスポートする場所 [参照]をクリックして、公開鍵をバックアップするためのパスを選択します。これは、複数のCore Consoleから同じFaronics Core Serverに接続するときに便利です。

Faronics <mark>core</mark>	www.faronics.com
デー タベース接続 SQL Serverインスタンスの選択(1が見つかりました): CORE-PC¥SQLEXPRESS	
Faronics Core Serviceのデータベースログインの資格情報: Window感習証を使用 SQL Servei認証を使用 ログイン ID: パスワード: テスト 	
	(前へ) 次へ> キャンセル



証明書は Windows の証明書ストアに保存され、エクスポートできます。詳細は、 http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc737187%28WS.10%29.aspx を参照 してください。

エクスポートした証明書は、手順2の方法でインポートできます。これは、同じ 公開鍵を使って複数のCore Serverから1つのFaronics Core Consoleに接続すると きに便利です。

- 5. Faronics Core Console により、コンピュータ上の既存のデータベースサーバーが検索されます。 この手順では何もする必要はありません。
- 既存のデータベースサーバーが検出されると、次の画面が表示されます。SQL Server(または SQL Server Express)がローカルにインストールされ、SQL Server のインスタンスが1つだけ インストールされている場合、その特定のサーバーのインスタンスがデフォルトで選択され ます。使用するデータベースサーバーをドロップダウンリストから選択します。または、デー タベースサーバー名を手動で入力することもできます。



Faronics Core 管理者アカウントの設定 onics Core Console を管理するには、最初の管理者アカウントを作成する必要がありま e SQL データベースに位置し、他のユーザ アカウントを定義する権限があります。 通	www.faronics.com す。このアカウントは Faronics
Faronicscore ronics Core 管理者アカウントの設定 onics Core Console を管理するには、最初の管理者アカウントを作成する必要がありま e SQLデータベースに位置し、他のユーザアカウントを定義する権限があります。 通	www.faronics.cor す。このアカウントは Faronics
aronics Core 管理者アカウントの設定 onics Core Consoleを管理するには、最初の管理者アカウントを作成する必要がありま e SQLデータベースに位置し、他のユーザアカウントを定義する権限があります。 過	す。このアカウントは Faronics
onics Core Consoleを管理するには、最初の管理者アカウントを作成する必要がありま e SQLデータベースに位置し、他のユーザアカウントを定義する権限があります。 過	す。このアカウントは Faronics
onics Lore 空推者 J HT	
onicsCoreAdmin	
ワード: パスワードの確認:	
••••••	
ワードは 8~15 文字で、少なくとも 1 つの数字または特殊文字を含める必要があります	ŧ。
〈前へ	次へ > キャンセル

- [Windows認証を使用]または[SQL Server 認証を使用]を選択します。Faronics Core Server に 使用する認証は、システム管理者にお問い合わせください。
- [SQL Server 認証を使用]を選択した場合、SQL Server のユーザー名とパスワードを入力 します。
- [テスト]をクリックして、データベースサーバー接続をテストすることもできます。

Faronics Core Setup では、選択した SQL Server インスタンスに、FaronicsCore、 FCCMembership、および FaronicsCoreReporting という 3 つのデータベースが作成されます。 Windows 認証を伴うローカルの SQL Express バージョンを使用しない限り、2 つのデータ ベースを作成するためには、sysadmin としてのログイン資格情報が必要です。Faronics Core Setup では提供された資格情報に必要なロールがあるかどうかが検出され、ない場合は、デー タベースサーバーの管理者資格情報を入力するよう指示されます。この資格情報は一時的に 使用され、データベースを作成後に破棄されます。

- [次へ]をクリックします。
- 7. 新しい管理者を作成します。必ず最初の管理者アカウントを作成する必要があります。許可 されたユーザーのみが、Faronics Core を使って操作を行えます。最初の管理者アカウントか ら、他のユーザーアカウントを作成できます。



没定が終了しました	
aronics Core のセットアップが終了しました。	
没定に必要な次のステップを終了しました。	
作成済みの証明書名:	FaronicsCore6
呆存された公開鍵の場所:	C.¥Users¥core¥FaronicsCore6.cer
GQL Serverインスタンスに接続済み:	CORE-PC¥SQLEXPRESS
没定されたQLデータベース:	FaronicsCore, FCCMembership, FaronicsCoreReporting
更用されたサーバの認証:	Windows仍認慧正
乍成済みのFaronics Core管理者ユーザ:	FaronicsCoreAdmin
乍成済みのFaronics Core管理者パスワート	९: <非表示>
ore Serverを右クリックし、証明書のエクスオ	ペートを選択して、Faronicsセキュリティ証明書(公開鍵と秘密鍵をFaronics

この画面には次のオプションがあります。

- Faronics Core 管理者ユーザー ユーザー名を指定します。
- パスワード パスワードを指定します。パスワードは8~15文字の英数字でなければなりません。大文字、小文字、数字で構成する必要があります。
- パスワードの確認 パスワードを再入力します。
- 8. 次の画面に、すべての設定の要約が表示されます。設定を保存するには、[保存…]をクリックします。設定を印刷するには、[印刷…]をクリックします。非表示されたパスワードを表示するには、[パスワードの表示]チェックボックスを選択します。
- 9. [完了]をクリックして、Faronics Core Setup を閉じます。





Faronics Core Console の手動設定

本章では、[Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログ、そのさまざまなタブ、および設定 オプションについて説明します。

トピック

Faronics Core Server への接続 [Faronics Core Console のプロパティ] ダイアログ [コンソール] タブ [バージョン情報] タブ



Faronics Core Server への接続

インストールの際に、[Faronics Core Console のみのインストール]オプションを選択して、 Faronics Core Console のみをインストールすることができます。Faronics Core Console をイン ストールすると、複数の Core Server に接続できます。

Faronics Core Server に接続するには、次の手順を実行します。

- 1. Faronics Core Console を起動します。
- 2. コンソールツリーペインで、[Faronics Core Console] を右クリックします。
- 3. [サーバーへの接続]を選択します。[Faronics Core Server への接続]ダイアログが表示されます。

サーバーアドレス			
名前またはIP: 🧧	calhost	ポート:	7753
ユーザーの資格情報	膈		
ユーザー <mark>ID</mark> :	FaronicsCoreAdmin10		

- 4. 次のフィールドで値を指定します。
- 名前またはIP Faronics Core Serverの名前またはIPアドレスです。
- ポート Faronics Core Consoleから Faronics Core Server に接続するポートです。
- ユーザー ID Faronics Core Server のユーザー ID です。
- パスワード Faronics Core Serverのパスワードです。
- 資格情報を保存するには、[この接続の保存]チェックボックスを選択します。
- 5. [接続]をクリックします。

Faronics Core Server との接続が確立されると、コンソールツリーペインに表示されます。



Faronics Core Serverへの接続が切断されると、コンソールツリーペインに「再接 続中…」というメッセージが表示され、Faronics Core Console は 10 秒ごとに 10 回接続を試みます。再接続を停止するには、Faronics Core Serverを右クリックし て、[再接続の停止]を選択します。



[Faronics Core Console のプロパティ] ダイアログ

[Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログには、手動で Faronics Core Console を設定す るためのオプションがあります。コンソールツリーペインで、[Faronics Core Console]を右クリッ クして、[プロパティ]を選択します。

[Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログが表示されます。

Faronics Core Console Properties	×
ウェルカム ページ 「ニュースおよびアップデート情報を得るために、www.faronics.comにアク セスする	
サーバー接続 「 接続ラベルで接続されたユーザーの名前を表示します。 「 接続ラベルでサーバーのボート番号を表示します。 「 内部製品タスクの表示	
OK Cancel Apply	

[Faronics Core Console のプロパティ] ダイアログには、Faronics Core Console を設定するための 2 つのタブがあります。タブについては次のセクションで詳しく説明します。

[コンソール] タブ

[コンソール]タブには次の設定オプションがあります。

ンソール	言羊糸町「青幸辰
עדט	レカム ページ ニュースおよびアップデート情報を得るために、www.faronics.comにアク ▼ セスする
უ -	バー接続 ☑ 接続ラベルで接続されたユーザーの名前を表示します。 □ 接続ラベルでサーバーのポート番号を表示します。 □ 内部製品タスクの表示
	OK Cancel Appl

- Faronics Core Console が Faronics ウェブサイトに接続していることを確認するには、 [www.faronics.com に接続してお知らせおよび更新を閲覧する] を選択します。
- Core Console に現在ログオンしているユーザーを表示するには、[接続ラベルで接続された ユーザーの名前を表示する] を選択します。
- Faronics Core Server ノードで Faronics Core Server のポートを表示するには、[接続ラベル でサーバーのポート番号を表示する] を選択します。
- Product Loadin が内部生成したタスクをタスク履歴に表示するには、[Faronics のシステム タスクを表示する]を選択します。この情報はワークステーションの管理者にとって有益で す。このチェックボックスはデフォルトで選択されています。
- リモート接続でコンピュータにアドレスを付ける方法を選択します。[名前順]を選択して ワークステーションにコンピュータ名のアドレスを付けるか、または[マネージドワークス テーションは IP 順、アンマネージドワークステーションは名前順]を選択します。



[バージョン情報] タブには、お使いのコンピュータにインストールされている Faronics Core Console のバージョンが表示されます。このタブにはインストールされている Loadin も表示されます。

Faronics Core Console Properties	×
コンソール 詳細情報	
Faconics"	www.faronics.com
Faronics Core Co バージョン: 3.30.2100.1941 インストール済みの製品:	nsole
製品	バージョン
Faronics Corporation Copyright © Faronics Corporat	ion 2010
	OK Cancel Apply



表示されているLoadinは、Faronics Core Consoleのインストールの一部ではあり ません。Loadinは別途ライセンスされて、インストールされます。




Faronics Core Server の手動設定

本章では、Faronics Core Server のプロパティダイアログ、そのさまざまなタブ、および設定オプ ションについて説明します。

トピック

概要

[サーバー] タブ [データベース] タブ [Web サービス] タブ [バージョン情報] タブ 概要



Faronics Core のアーキテクチャは複数の Faronics Core Server に対応しています。Faronics Core Server を右クリックして、[プロパティ] を選択します。Faronics Core Server のプロパティダイ アログが表示されます。

1-11-	データベース Web サービス 詳細情報
デ	ータ保存 次より古いワークステーション イベントを削除 1100 🌻 期間(日)
<i>\$</i> 7	200履歴 次より古いタスクを自動的に削除 5 (二) 期間(日)
יק?	ション動作 設定
٦I	ペレッシングモード ◎ IP アドレスで接続する
Co	re Serverで実行許可されたアクション
	 ○ なし ● アクションは再起動と製品のインストールを必要としません。
	すべてのアクション



Faronics Core では、7751、7752、および 7753 のポートを使用します。詳細は、 「Faronics Coreで使用されるポート」を参照してください。



サーバー デ	ータベース Web サービス 詳細情報	
データ	保存	
	次より古いワークステーションイベントを削除 100 🍦 期間(日)	
タスクロ)履歴	
	次より古いタスクを自動的に削除 5 🚽 期間(日)	
7/52-	、★ 1 代 下	
100=	設定	
アドレ	シング モード	
	◎ コンピュータ名で接続する ● IP アドレスで接続する	
Core S	ienverで実行許可されたアクション	
0010 0		
	0 780	

ок

Cancel

[サーバー]タブには次の設定オプションがあります。

データ保存 – Faronics Core Database に保存されたワークステーションイベントが古くなったら削除されるようにするため、その日数をスピンボックスから選択します。

Apply

- タスクの履歴 Faronics Core Server に保存されたタスク履歴が古くなったら削除されるようにするため、その日数をスピンボックスから選択します。
- アクション動作 [アクション動作]を設定するには、[設定] ボタンをクリックします。
- アドレッシングモード 必要に応じて、[コンピュータ名で接続する]または[IPアドレスで接続する]を選択します。

アクション動作の設定

この機能により、Faronics Core Console から設定されているさまざまなアクション動作を設定することができます。Faronics Core Server と Loadin のアクション動作も設定できます。

アクション動作を設定するには、次の手順を実行します。

1. Faronics Core Server のプロパティのダイアログを開きます。



-//-	データベース Web サービス 詳細情報
デ	ータ保存 次より古いワークステーションイベントを削除 100 🚖 期間(日)
\$7	スクの履歴 次より古いタスクを自動的に削除 5 ☆ 期間(日)・
יק	ジョン動作 設定
7	ドレッシング モード ◎ コンピュータ名で接続する ◎ IP アドレスで接続する
Co	re Serverで実行許可されたアクション の なし
	 アクションは再起動と製品のインストールを必要としません。 すべてのアクション

2. [サーバー]タブの[アクション動作]のセクションで[設定]をクリックします。[アクション 動作の設定]ダイアログが表示されます。

製品アクション	常に問合せ	有効	有効	有効
Faronics Core Console				
P Configure Faronics Core A	False	True	1日	True
🕒 Upgrade Faronics Core Ag	False	True	1日	True
Duninstall Faronics Core Ag	False	True	18	True
C Install Faronics Core Agent	False	True	1日	True

3. 製品のアクションを選択して、[編集]をクリックします。[アクションの編集]ダイアログ が表示されます。

アクションの	扁集	
アクション名:	Restart	
🔽 タスクを実行	テする前に、オフラインのワークステーションを起動する	
🔲 次の時間の	ちにオンラインになったワークステーションでタスクを実行する 1	🚽 時間 👻 タスクの開始時から
ご注意 新しい種類	のタスクを作成すると、上記の設定が使用されます:'Restart'. その	D時点で変更できます。
デフォルトに	콧す	OK キャンセル



- 4. [アクションの編集]ダイアログから次の設定オプションを選択します。
- タスクを実行する前に、オフラインのワークステーションを起動する ワークステーション でタスクが実行される前に、オフラインのワークステーションが起動するようにするには、このオプションを選択します。
- 次の時間内にオンラインになったワークステーションでタスクを実行する オフラインの ワークステーションがFaronics Core Serverと再び通信できるようになったときに、アクションが再試行されるようにするには、このチェックボックスを選択します。このオプションを 選択すると、オフラインになったコンピュータがオンラインに戻るか、または待ち時間が経 過するか、いずれか早い時まで、タスクがコンソールツリーペインの[アクティブ]ノードに 残ります。値を入力します。期間を日(最低1、最大365)、時間(最低1、最大168)、または分 (最低3、最大1140)で選択します。
- 5. [OK]をクリックして、設定を適用します。



[アクションの編集]ダイアログの設定への変更は、ダイアログに表示された新規 タスクすべてに適用されます。



[データベース]タブ

[データベース]タブではデータベースを設定できます。

データベースを設定するには、次の手順を実行します。

コンソールツリーペインで、[Core_Server]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。
 [データベース]タブを選択します。

localhost(FaronicsCore	Admin10) Prop	perties
サーバー	データベース	Web サービス	、 言羊糸田 (青 幸 服
デ・ SC	ータベース サー/ QL Serverインス	√−接続 タンス: WIN-6	543V67AF587¥SQLEXPRESS
Far	onics Core Sen	viceのデータベー 20証を使用 wi記記を使用 名: [_ド: [-スログイン
			設定の変更
			OK Cancel Apply

2. データベースの接続設定を変更したり、別のデータベースサーバーに接続するには、[設定の 変更]をクリックします。次のダイアログが表示されます。

001.0 () 3 b) 3		
SQL Server1 27927:	WIN-643V6/AF58/#SQLEXPRESS	•
Faronics Core Serviceのデ		
 Windows認証を修 	使用	
SQL Server 211	·使用	
ユーザ名:		
パスワード:		
===		

- 3. ドロップダウンリストからデータベースサーバーを選択します。または、データベース名を 手動で入力することもできます。
- 4. [Windows 認証を使用] または [SQL Server 認証を使用]を選択します。
- 5. [SQL Server 認証を使用]を選択した場合、SQL Server のユーザー名とパスワードを入力 します。
- [テスト]をクリックして、データベースサーバー接続をテストすることもできます。この手順はオプションです。
- 7. [適用]をクリックします。[OK]をクリックして、ダイアログを閉じます。

[Web サービス]タブ

[Web サービス]タブで、リモート WOL Web サービスを作成することができます。ネットワーク での WOL の使用に関する詳細は、「*Wake-On-LAN*」を参照してください。

リモート WOL Web サービスにより、リモート操作でワークステーションを起動することができます。これにより、リモートユーザーがワークステーションにリモート接続できます。

	CoreAdmin) Properti	es		
Deep Freeze サーバー ア	Power Save ラート データベース	System Profiler Web サービス	WINSelect Anti-Executable	詳細情報 Anti-Virus
IJモ∽トWOL	Webサービスの設定		ポート番号:	81 🜲
🔲 ሀቺጐዞ ነ	WOL Webサービスを有効	h		
	の管理されたワークステー	ーションから ユーザがター	-ゲットを選択すること	を許可
http://core-l	PC:81/FaronicsCoreWeb(Console/Wol/default.asp	× クリッフ	?ボード

WOL Web サービスの設定

[Web サービス] タブには次の設定オプションがあります。

- 1. [リモート WOL Web サービスを有効]チェックボックスを選択します。
- 2. [IIS の設定] 画面が表示されます。



IIS-HttpErrors IIS-ApplicationDe IIS-ASPNET IIS-NetFxExtensi
IIS-ApplicationDe IIS-ASPNET IIS-NetFxExtensi
IIS-ASPNET IIS-NetFxExtensi
IIS-NetFxExtensi
•
directories
2000

- 3. [インストール]をクリックします。Web ページを実行するために必要なパッケージがイン ストールされ、IIS で有効になります。
- 4. 次の画面がインストール中に表示されます。この手順では何もする必要はありません。
- 5. インストールが完了すると、次の画面が表示されます。
- 6. [*OK*] をクリックします。IIS が設定されると、Web サービス URL が自動的に [*WOL Web* サービス] タブに登録されます。

Deep Fre	eze	Power Save	System Profiler	WINSelect	詳細情報
サーバー	アラート	データベース	ι Webサービス	Anti-Executable	Anti-Viru
				ᆂᇉᇉᇏᄝᆕ	01
UF-N	WOL Web	サービスの設定		/\ [−] 100 - 5.	. 01 💌
	wo∟web k.w∩i		54		
				1" 1 + 3340-4-7 - 1	
	すべての管	埋されたワークステ	ーンョンから ユーザがタ	ーケットを選択すること	스포타니
				Бим	<i>プポード</i>
http://	core-PC:81	/FaronicsCoreWeb	Console/Wol/default.as	px A	חבצ-

7. [Web サービス URL] は編集できません。デフォルトのポート番号は 81 です。



- 管理されたワークステーションからユーザーがターゲットを選択できるようにするには、
 すべての管理されたワークステーションからユーザがターゲットを選択することを許可]
 チェックボックスを選択します。この機能は、ユーザーが個々のワークステーション ID を知らずに、ネットワーク上のすべてのワークステーションを起動してしまうことを防ぐことで、
 セキュリティ制限を提供します。
- 9. [OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。

リモート WOL 電子メールの作成を使った電子メールの送信

[リモート WOL 電子メールの作成]は、通知の電子メールを作成して、特定のワークステーション のユーザーに送信するために使用します。電子メールにはウェブサイトへのリンクが含まれてお り、そのサイトからリモート操作でワークステーションを起動することができます。

ユーザーに電子メールを送信するには、次の手順を実行します。

- 1. 管理されたワークステーションのリストからワークステーションを選択します。
- 右クリックして、[リモート WOL リマインダーの作成]を選択します。[リモート WOL 電子 メールの作成]ダイアログが表示されます。
 - 使用できるマクロのリストを表示するには、[説明]をクリックします。
 - 現在の電子メールを後で使用するためにテンプレートとして保存するには、[テンプレートの保存]をクリックします。テンプレートは.txt 形式でのみ保存できます。
 - 既存のテンプレートを参照して選択するには、[テンプレートのロード]をクリックします。

דע 🏮	ート WOL 電子メー	ルの作成		
受信者 電子	がWebブラウザからワー メール受信者の詳細	ウステーションをウェイクフ	ップさせることを許可する	5電子メールを作成します。
	電子メール アドレス:			
	ワークステーション名:	WIN-643V67AF587		
受信者	記送信されるカスタマイ	ズされたメッセージを作成	えします。	[] 記名
題名:	Faronics Core Con	sole ウエイクオンランの通	知	
ワーク) 選択さ %WOI 将来る どうぞ。	ステーションをウェイク ア・ ざれたワークステーション Junk% 参照するためして、ブラウサ よろしく。IT管理者	ップするためには、最初に: 記載動」ボタンをクリックし でこのリンクにブックマーク	企業のVPNに接続し、2 てください: を付けておくことをお勧ば	気に下のリンクをたどって、「)します。
テン:	プレートのロード	テンプレートの保存	電子メールの	D作成 キャンセル

3. 電子メールアドレスとワークステーション名が自動的に適切なフィールドに入力されます。 メッセージを入力し、[電子メールの送信]をクリックします。



リモートワークステーションウェイクアップ Web インターフェイスを使ったワークステー ションの起動

ユーザーが電子メールを受け取ったら、そこに示されたハイパーリンクをクリックして、リモー トワークステーションウェイクアップ Web インターフェイスを起動し、リモート操作でワーク ステーションを起動することができます。URL の詳細は、「WOL Web サービスの設定」の手順 6 を参照してください。

リモート操作でワークステーションを起動するには、次の手順を実行します。

- 1. 電子メールのハイパーリンクをクリックします。
- 2. [リモートワークステーションウェイクアップ]画面が表示されます。
- 選択したワークステーションを起動するには、[ユーザーのワークステーション]を選択し、 特定のワークステーションのチェックボックスを選択します。また、管理されたワークステー ションをすべて起動するには、[すべての管理されたワークステーション]を選択することも できます。
- 4. ワークステーションを起動するには、[選択されたワークステーションをウェイクアップ]を クリックします。ウェブページを更新するには、[イベントのリフレッシュ]をクリックします。



企業の Virtual Private Network (VPN) 上にログオンした後にのみ、リモートワー クステーションウェイクアップのWebインターフェイスが表示されます(だだし、 VPNが設定されている場合)。WebサーバーはFaronics Core Serverにインストー ルされます。ユーザーがワークステーションを起動するには、企業のVPNにログ オンする必要があります。



[バージョン情報] タブには、お使いのコンピュータにインストールされている Faronics Core の バージョンが表示されます。このタブには Core Server にインストールされている Faronics Loadin も表示されます。

Formics Corporation Faronics Corporation Corporation 2010			
Faronics Core Server パージョン: 3.30.2100.1941 インストール済みの製品: 製品 パージョン Faronics Corporation Copyright © Faronics Corporation 2010		Control WWW.fart	onics.com
製品 パージョン Faronics Corporation Copyright ® Faronics Corporation 2010	Faronics Core Se バージョン: 3.30.2100.1941 インストール済みの製品:	rver	
Faronics Corporation Copyright © Faronics Corporation 2010	製品	パージョン	
	Faronics Corporation Copyright © Faronics Corpora	tion 2010	



表示されているLoadinは、Faronics Coreのインストールの一部ではありません。 Loadinは別途ライセンスされて、インストールされます。



Faronics Core Agent インストーラ

Faronics Core Agent インストーラは、Faronics Core Agent をワークステーションにインストー ルするために使用します。Faronics Core Agent は、Faronics Core Console、Faronics Core Server、および Faronics Core Database の間の通信を確立するために使用します。Faronics Core Console を使用してワークステーションを管理するには、このインストーラをワークス テーションに配備する必要があります。

Faronics Core Agent インストーラの作成

Faronics Core Agent インストーラを作成するには、次の手順を実行します。

- Faronics Core Server 接続ノードを右クリックして、[Faronics Core Agent インストーラの作成]を選択します。
- 2. [Faronics Core Agent インストーラの作成] ダイアログが表示されます。このダイアログに は次のオプションがあります。

接続	トラフィック	パスワード		
Faronics Core Ag	pentがレポートするサー	-/%:	10.0.4.71:7752	•
Faronics Core Ag	jentがコマンドをリッスン	/するポート:	7751 🚔	
🔲 ワークステージ	/ョンはWake-on-LAN	(WOL)リレーとして	機能する <mark>(W</mark>)	

- 接続タブ
 - Faronics Core Agent がレポートするサーバー このドロップダウンにはワークステーションが通信するサーバーが表示されます。このフィールドは変更できません。
 - Faronics Core Agent がコマンドをリッスンするポート このフィールドには Faronics
 Core Agent がリッスンするポートが示されます。初期設定のポート番号は 7751 です。
 - ワークステーションは Wake-on-LAN (WOL) リレーとして機能する ワークステーションを Wake-on-LAN (WOL) リレーとして機能させるには、このチェックボックスを選択します。この機能によって管理者はウェイクアップブロードキャストの制限を回避して、ネットワーク全体でワークステーションをウェイクすることができます。



トラフィックタブ

接続	トラフィック	パスワード	
スロットル: (更新はFaronics Core Server(ご次の頻度で送信されます) ハートビート: (更新はFaronics Core Server(こ最低でも)次の頻度で送信されます)			30 🖕 秒 🔻

- スロットル-[更新は Faronics Core Server に次の頻度で送信されます]の値を分と秒で選択します。これは管理されたワークステーションがサーバーに変更をレポートする頻度を表します(変更がある場合)。
- ハートビート-[更新は Faronics Core Server に最低でも次の頻度で送信されます]の値を 分と秒で選択します。これは変更の有無に関らず管理されたワークステーションがサー バーにレポートする頻度を表します。ハートビートの値はスロットルの値よりも小さく できません。ハートビートをoにすると、管理されたワークステーションは変更がある ときにのみレポートします。
- ・ パスワードタブ

接続	トラフィック	パスワード		
aronics Core Ag	gentのローカルアンイン	ッストールパスワードを変	更する	
🗏 パスワードをね	有効にする			
スワード(P):				
ペスワードの確認	?(C):			

- パスワードを有効にする Faronics Core Agent をローカルでアンインストールする際に 必要とされるパスワードを指定します。[新しいパスワード]と[パスワードの確認]の 値を指定します。これにより、ワークステーションから無許可で Faronics Core Agent を 削除できないようになります。
- 3. [OK] をクリックします。ファイルの場所を参照して選択します。
- 4. [保存]をクリックします。



Deep Freeze がワークステーションにインストールされている場合、再起動後も Loadin データは StorageSpace に保持されます (ワークステーションが Frozen 状態の場合)。DeepFreeze の詳細は、*www.faronics.com/library* からダウン ロードできる『Deep Freeze Enterprise ユーザーガイド』を参照してください。





詳細オプションの使用

本章では、Faronics Coreの詳細機能について説明します。

トピック

Faronics Core のセキュリティ Faronics Core で使用されるポート Wake-On-LAN



Faronics Core のセキュリティ

Faronics Core ではセキュリティ証明書を使って、Faronics Core Console、Faronics Core Server、 および Faronics Core Agent の間の通信を安全に保ちます。

セキュリティ証明書は次の内容で構成されています。

- 公開鍵 通信を暗号化するために使用します。
- 秘密鍵 通信を復号化するために使用します。

公開鍵と秘密鍵は常に一対で使用します。公開鍵1つに対して、常に唯一の秘密鍵があります。 Faronics Core の各コンポーネントには次の鍵があります。

- Faronics Core Server 公開鍵と秘密鍵
- Faronics Core Console 公開鍵
- Faronics Core Agent 公開鍵

公開鍵のエクスポートとインポート

Faronics Core Console と Faronics Core Server をインストールする際には、公開鍵をエクスポートすることを強く推奨します。.cer ファイルに公開鍵が含まれています。公開鍵を共有することで、複数の Core Console から同じ Faronics Core Server に接続できます。

次の手順を実行します。

- 1. 「Faronics Core Server への接続」での説明に従って、Faronics Core Server に接続します。
- 2. 証明書と拇印が表示されます。
- 3. [インポート]をクリックします。
- 同じ Faronics Core Server に接続する必要のあるすべての Core Console で上記手順を繰り返します。
- これで、複数の Core Console から同じ Faronics Core Server に接続できます。

秘密鍵のエクスポートとインポート

Faronics Core Console と Faronics Core Server をインストールする際には、秘密鍵をエクスポートすることが大変重要です。複数の Core Server で秘密鍵を使うと、同じ Faronics Core Agent から送信される情報を復号化することができます。

これは、複数の Core Server で組織内の同じワークステーショングループを管理する必要がある ときに便利です。ワークステーションは一度に 1 つの Faronics Core Server にのみ接続できます が、[Faronics Core] > [所有者の変更]でそれを変更することができます。

次の手順を実行します。

1. 「*Faronics Core Setup*」での説明に従って、Faronics Core Server の秘密鍵をエクスポート します。



- 2. この秘密鍵を別の Faronics Core Server に転送します。
- 3. 「Faronics Core Setup」での説明に従って、同じ秘密鍵をインポートします。手順2で[既存の証明書をインポートする]を選択し、.pfx ファイル(公開鍵と秘密鍵が含まれている)をインポートします。
- 同じワークステーションに接続する必要のあるすべての Core Server で上記手順を繰り返し ます。

これで、複数の Core Server から同じワークステーションに接続できます。



公開鍵と秘密鍵はFaronics Core Agentインストーラからワークステーションに自動的に追加されます。



安全な場所に.pfxファイル(公開鍵と秘密鍵)をバックアップしておくことを 強く推奨します。このファイルを使って新しいFaronics Core Serverを設定で きます。

セキュリティ証明書のエクスポート

セキュリティ証明書 (公開鍵と秘密鍵)は、バックアップ場所にエクスポートして保存できます。 エクスポートされたセキュリティ証明書は、新規 Faronics Core Server の作成中にインポートで きます。この証明書は、障害回復の際に、新規 Faronics Core Server をセットアップし、ワーク ステーションに接続するために便利です。

セキュリティ証明書をエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1. [Faronics Core Server]を右クリックして、[証明書のエクスポート]を選択します。
- 2. [証明書のエクスポート]ダイアログが表示されます。
- 3. 証明書をエクスポートする場所を参照して選択します。
- 4. [証明書のパスワード]を入力し、パスワードを確認します。
- 5. [エクスポート]をクリックします。

セキュリティ証明書のインポート

エクスポート済みのセキュリティ証明書を、Faronics Core Server にインポートできます。 セキュリティ証明書 (公開鍵と秘密鍵) をインポートするには、次の手順を実行します。

- 1. [Faronics Core Server]を右クリックして、[証明書のインポート]を選択します。
- 2. [証明書のインポート]ダイアログが表示されます。
- 3. 証明書を保存する場所を参照して選択します。
- 4. [証明書のパスワード]を入力します。
- 5. [インポート]をクリックします。



Faronics Core で使用されるポート

このセクションでは、Faronics Core で使用されるポートとその意味について説明します。 Faronics Core では次のポートが使用されます。

- 7751 このポートはワークステーションにあり、Faronics Core Serverからのコマンドを受信 するために使用されます。このポートではPingコマンドが有効になっています。
- 7752 このポートは Faronics Core Server にあり、ワークステーションからのイベントを受信するために使用されます。
- 7753 このポートは Faronics Core Server にあり、Faronics Core Console からの通信を受信 するために使用されます。

デフォルトで、Faronics Core は Windows ファイアウォールに対して、7751、7752、および 7753のポートを開放します。



ウィルス対策ソフトウェアを使用している場合、7751、7752、および 7753 のポートがブロックされていないことを確認します。この操作は、Faronics Core Console、Faronics Core Server、および Faronics Core Agent の間の通信をシームレスに行うために必要です。

ポートの指定場所に関する詳細は、「Console を使った Faronics Core Agent の配備」を参照して ください。

Wake-On-LAN

組織の重要な管理タスクには、ソフトウェアのインストール、アップグレードとホットフィック ス、データのバックアップ、システムインベントリとパッチの管理があります。こういったタス クを実行するためには、ワークステーションを常にオンにしておかなければなりませんが、 Wake-on-LAN テクノロジーを使うと、ワークステーションをリモートで起動することができま す。そのため、ワークステーションをスリープ状態にすることができるので、電力を節約するこ とができます。

Wake-on-LAN (WOL) ブロードキャストパケットが、ルーターやその他のネットワーク装置を通 過しないことがあるという状態では、リモートサブネットのワークステーションを常に起動でき るわけではありません。その場合、1 台以上のワークステーションを WOL リレーとして指定する ことができます。ワークステーションを WOL リレーとして指定するには、「Faronics Core Agent インストーラ」を参照してください。

Faronics Core Console からリモートサブネットのワークステーションを起動しようとすると、そのサブネット上の WOL リレーを使用して、ターゲットのサブネット上で起動メッセージを再送 するよう要求します。Wake-on-LAN Web サービスの設定の詳細は、「[Web サービス]タブ」を 参照してください。

リモート操作でワークステーションを起動する方法については、「リモートワークステーションウェイクアップ Web インターフェイスを使ったワークステーションの起動」を参照してください。

56 詳細オプションの使用





Faronics Core Agent の配備

本章では、ネットワーク上で Faronics Core Agent を配備する方法について説明します。

トピック

Faronics Core Console でのアンマネージドなワークステーションの検出 ローカルネットワーク上でのアンマネージドなワークステーションの検出 LDAP を使ったアンマネージドなワークステーションの検出 Console を使った Faronics Core Agent の配備 ワークステーションへの Faronics Core Agent の手動による配備(アテンデッドインストール) Faronics Core Console でのワークステーションの表示 Faronics Core Server の変更



Faronics Core Console でのアンマネージドなワークステーションの検出

アンマネージドなワークステーションとは、Faronics Core Agent がインストールされていない ワークステーションを指します。Faronics Core Agent がインストールされたら、そのワークス テーションは Faronics Core Console を使用して完全に管理することができます。

Faronics Core Console は、アンマネージドなワークステーションを検出するための 2 つの方法を サポートします。

- ネットワークのワークグループでワークステーションを直接検出する(ローカルネットワーク 上でのアンマネージドなワークステーションの検出)
- Microsoft Active DirectoryまたはNovell Directory Servicesに保存されるLDAPを介してワークステーションを検出する(LDAPを使ったアンマネージドなワークステーションの検出)

アンマネージドなワークステーションが検出されると、Faronics Core Console から直接 Faronics Core Agent をワークステーションにリモート配備することができます。

Faronics Core Console を使った Faronics Core Agent の配備については、「Console を使った Faronics Core Agent の配備」のセクションを参照してください。



ローカルネットワーク上でのアンマネージドなワークステーションの検出

ローカルネットワークに接続されたワークステーションを検出するには、ネットワークワークス テーションノード([Core_Server_Name] > [ワークステーション] > [検出されたワークステー ション] > [ネットワークワークステーション])を選択すると、ワークグループが自動的に検出 されます。ワークステーションを表示するには、ワークグループを右クリックして、[リフレッ シュ]を選択します。[検出されたワークステーション]のワークグループを初めてクリックする と、グループは自動的に更新され、そのワークグループで検出されたワークステーションリスト の情報が入力されます。



Faronics Core Console ではバックグラウンドでネットワークが再スキャンされ、検出されたすべてのワークグループまたはドメインの新規ノードがコンソールツリーペインに作成されます。 これらのノードを選択すると、指定したドメインまたはワークグループに存在するワークステーションが表示されます。

Faronics Core Console では、常に最後のネットワーク スキャン結果が保存され、表示されます。 再スキャンするには、[リフレッシュ] をクリックします。



LDAP を使ったアンマネージドなワークステーションの検出

Microsoft Active Directory またはNovell Directory Servicesのようなディレクトリサービスを使っ てワークステーションを検出するには、新規 LDAP 接続を追加する必要があります。

新しい LDAP 接続を追加するには、次の手順を実行します。

 [LDAP 接続]ノード([Core_Server_Name]>[ワークステーション]>[検出されたワークス テーション]>[LDAP 接続])を選択して、[新規 LDAP 接続の追加]を選択します。



2. [新規 LDAP 接続の追加]ダイアログが表示されます。次の値を指定します。

Windows Addition of the second sec	ctive Directory(W)	Directory
サーバー:		
DAP ドメイン:		
オプション(0):		
ADS パス:		
LDAP 接続 証明 ・ 匿名 接続 ・ ・ ・	書 『接続する:	
ユーザ名	:	
パスワート	۳:	

- [Windows Active Directory] または [Novell eDirectory] を選択します。
- [サーバー]と[LDAPドメイン]の値を指定します。[ADSパス]ラベルの右側に、LDAPサーバーに接続するために使用される接続文字列が表示されます。



- このフィールドはオプションです。[オプション]フィールドで[参照]アイコン(…)をクリック します。ブラウザが起動し、Active Directoryを選択するために参照することができます。Active Directoryを選択すると、[オプション]フィールドに自動的に詳細が入力されます。
- [LDAP 接続証明書]を選択し、次の設定を行います。
 - 匿名で接続するには、[匿名接続]を選択します。
 - 接続にユーザー名とパスワードが必要な場合、[次の証明書で接続する]ラジオボタンを 選択します。[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。
- [コンピュータを含むグループまたはサブグループのみを表示する]チェックボックスは、空のグループが表示されるのを防ぐために使用できます。
- 3. [OK]をクリックして、現在の設定の変更を保存し、ダイアログを閉じます。

特定の LDAP 接続ノードを選択し、[アクション]ペインで[接続情報の更新]をクリックすることで、LDAP 証明書情報を更新することができます。

LDAP 接続情報と適切な証明書が入力された後、ディレクトリサービスで事前に定義されたグ ループとワークステーションは、Faronics Core Console にインポートされます。これらのグルー プは、コンソールツリーペインで、特定の LDAP 接続名を持つ新規ノードの下に表示されます。

Faronics Core Console は、各 LDAP 接続の結果を保存し、表示します。ディレクトリサービスと 再同期化するためには、LDAP 接続ノードを選択して、[リフレッシュ]をクリックします。



Console を使った Faronics Core Agent の配備

アンマネージドなワークステーションが検出されたら、Windows Network または LDAP 接続を介 して、Faronics Core Console から直接 Faronics Core Agent をインストールすることができます。



Windows ファイアウォールがターゲットワークステーションで有効になってい る場合、[ファイルとプリンタの共有]および[リモート管理]の例外を有効にする 必要があります。これらの例外に関する情報は、適切なMicrosoftのマニュアルを 参照してください。

ワークステーションがドメインの一部ではない場合は、Windowsのセキュリティ 機能により、Microsoft Windows を実行しているワークステーションに Faronics Core Agent を配備することが防止されます。

Faronics Core Console から Faronics Core Agent をインストールするには、次の手順を実行します。

 Core_Server_Name > [検出されたワークステーション] > [ネットワークワークステーション] サブノードまたは [LDAP 接続] サブノードのいずれかに表示される1台以上のアンマネージ ドなワークステーションを選択します。



 [アクション] ペインで、[Faronics Core Agent のインストール]をクリックします。[Faronics Core Agent の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログには次の オプションがあります。



Q Faronics Core Agentの構成
イベント報告の接続
Faronics Core Agentがレポートするサーバー: 169.254.53.148.7752 🔹
Faronics Core Server の接続
Faronics Core Agentがコマンドをリッスンするボート: 7751 🊖
サブネットにまたがるWake-on-LAN
ワークステーションはWake-on-LAN (WOL)リレーとして機能する(W)
ネットワークトラフィックの管理
レポートの最大頻度: 0 🔿 分(M) 30 🚽 秒(S)
Core Agent ローカル アンインストール パスワード
パスワード(P):
パスワードの確認(C):
次へ(N) (キャンセル(C)

- イベント報告の接続 このフィールドにはワークステーションが通信するサーバーが示されます。このフィールドは変更できません。
- Faronics Core Server の接続 このフィールドには Faronics Core Agent がリッスンする ポートが示されます。デフォルトのポート番号は 7751 です。
- サブネットにまたがる Wake-on LAN ワークステーションが Wake-on-LAN (WOL) リレーとして動作する場合、このチェックボックスを選択します。Wake-on-LAN の機能の詳細は、「[Web サービス] タブ」を参照してください。
- ネットワークトラフィックの管理 [レポートの最大頻度]を分数と秒数で選択します。
- Faronics Core Agent ローカルアンインストールパスワード Faronics Core Agent をロー カルでアンインストールする際に必要となるパスワードを指定します。[パスワード]と [パスワードの確認]の値を指定します。これにより、ワークステーションから無許可で Faronics Core Agent を削除できないようになります。



Deep Freeze がワークステーションにインストールされている場合、再起動後も LoadinデータはStorageSpaceに維持されます(ワークステーションがFrozen状態 の場合)。DeepFreezeの詳細は、*www.faronics.com/library*からダウンロードで きる『Deep Freeze Enterprise ユーザーガイド』を参照してください。

上記の値またはオプションを設定したら、[OK]をクリックします。

- 3. [リモートエージェントのインストール]ダイアログが表示されます。このダイアログには次のオプションがあります。
 - リモートエージェントの資格情報を保存するには、[これらの資格情報を記憶する]チェックボックスを選択します。
 - 選択したワークステーションに Faronics Core Agent をインストールするために、Faronics
 Core Agent でローカルワークステーションアカウントを使用する場合は、[ローカルワー



クステーションアカウント] を選択します。[ユーザー名] と [パスワード] に値を 入力します。

ドメインアカウントを使用するには、[ドメインアカウント]を選択します。[ドメイン]、
 [ユーザー名]、[パスワード]に値を入力します。



4. [OK] をクリックします。選択したワークステーションに Faronics Core Agent がインストー ルされます。

ワークステーションへの Faronics Core Agent の手動による配備

(アテンデッドインストール)

Faronics Core Agent インストーラを作成するには、[Faronics Core Agent インストーラの作成]の セクションを参照してください。

ターゲットワークステーション上に保存され、実行されたフォルダから FaronicsCore Agent イン ストーラの *.msi* ファイルをコピーすることで、FaronicsCore Agent インストーラファイルをワー クステーションに手動で配備できます。

.msi ファイルをダブルクリックし、[次へ]をクリックして、インストールを続行します。ウィ ザードによりインストールプロセスの各手順が完了できます。Faronics Core Console で管理する 各ワークステーションで同じ手順を繰り返します。

または、次のようにコマンドラインを使用することもできます。

msiexec /i <Core_Agent.msi>

Faronics Core Agent インストーラは、Faronics Core Console を使用して配備することもできます。 詳細は、「Console を使った Faronics Core Agent の配備」のセクションを参照してください。



Faronics Core Console でのワークステーションの表示

Faronics Core Console またはアテンデッドインストールにより、Faronics Core Agent をワーク ステーションにインストールすると、Faronics Core Agent から Faronics Core Server にレポート され、ワークステーションの列に Faronics Core Console の情報が表示されます。

 Faronics Core Console 	マネージドワークステーション 1ワークステーション				
	ワークステーション	ステータス	Active Task	バージョン (
 ○ マネージドワークステーション ● マネージドワークステーション ● ネットワークワークステーショ ■ ホットワークワークステーショ ■ はのRKGROUP ● LDAP 接続 ■ カスタム ワークステーション グルー ● タスク ② タスク ○ スクジュール設定しました ○ アクティブ > ■ 履歴 > ▲ アラート > ■ レポート 	WorkstationClients	オンライン		3.50.2100.300	



Faronics Core Server の変更

Faronics Core Server で管理されるワークステーションは、別の Faronics Core Server にレポート するように設定を変更できます。逆に、ある Faronics Core Server は別の Faronics Core Server で 管理されていることがわかっているワークステーションを引き継ぐことができます。

所有権の変更

ワークステーションの所有権は、現在の Faronics Core Server から別の Faronics Core Server に変 更できます。たとえば、ワークステーションが Faronics Core Server 1 で管理されており、その ワークステーションの所有権を Faronics Core Server 2 に変更する必要がある場合は、次の手順を 実行します。

- 1. コンソールツリーペインで[マネージドワークステーション]をクリックします。
- 1台以上のワークステーションを右クリックし、[ワークステーションの構成]>[所有権の変更]を選択します。
- [所有権の変更]ダイアログで、[名前]または[IP]、および[ポート]を入力します。必要に応じて、[新しいサーバに到達できなくても、所有権を強制的に変更する]を選択します。(この場合、Faronics Core Server 2 の [名前]または[IP]を入力します。)
- 4. [所有権の変更]をクリックします。
- ワークステーションの所有権は、Faronics Core Server 2 に変更されます。

所有権の獲得

現在の Faronics Core Server は、別の Faronics Core Server からワークステーションの所有権を得 ることができます。たとえば、一部のワークステーションが Faronics Core Server 2 によって現在 管理されている場合、Faronics Core Server 1 は Faronics Core Server 2 からそのワークステーショ ンの所有権を得ることができます。ワークステーションの所有権を得るには、次の手順を実行し ます。

1.コンソールツリーペイン > [検出されたワークステーション] > [ネットワークワークステーション] > [ネットワーク名] の順にクリックします。

2.1 台以上のワークステーションを右クリックし、[所有権の獲得]を選択します。

3.[所有権の獲得]ダイアログで、[名前]または[IP]、および[ポート]を入力します。(この場 合、Faronics Core Server 1 の[名前]または[IP]を入力します。)



[名前]または[IP]は、表示されるリストの中からのみ選択できます(サーバのネットワークカードごとに1つのIPアドレスが表示されます)。 ワークステーションが リッスンしているポートを入力します。

4.[所有権の獲得]をクリックします。



これで Faronics Core Server 1 は Faronics Core Server 2 にレポートしていたワークステー ションの所有権を獲得し、このワークステーションは Faronics Core Server 1の[マネージドワー クステーション]の下に表示されます。



所有権の変更と所有権の獲得について、次の点に注意してください。

- 両方のFaronics Core Serverが同じセキュリティ証明書を使用している必要があります。
- ターゲットワークステーションには、Faronics Core Agent 3.1 以降がインストールされている必要があります。
- ターゲットワークステーションにインストールされている Faronics Core Agentのバージョンは、所有権を得る Faronics Core Server よりも新しいバー ジョンであってはなりません。
- ワークステーションが新しいFaronics Core Serverによって再検出された場合 にのみ、所有権の移行が可能になります。



Faronics Core Console の使用

本章では、Faronics Core Consoleの使用方法について説明します。

トピック

Faronics Core Console のレイアウト Faronics Core Console ユーザーインターフェイスのコンポーネント ューザーとロールの管理 カスタムワークステーショングループ アクションのスケジュール設定 レポート オンラインワークステーションへのメッセージの送信 ワークステーションに関する注意事項の作成 ワークステーション上で実行可能ファイルまたはインストーラをリモート起動する ワークステーションでの Windows の更新 オンライン ワークステーションへのリモート接続 オンライン中のワークステーションからステータスを取得する アラートの設定 Faronics Core Agent の設定 Faronics Core Console 2.x から Faronics Core 3.0 へのアップグレード Faronics Core Agent $\mathcal{OP} \mathcal{P} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I}$



Faronics Core Console のレイアウト

次の図は、Faronics Core Console のメイン画面のレイアウトを示しています。各要素の詳細は、 次ページで説明します。

🗢 🧼 🖄 📰 🗟 🛛 🗊						
 Faronics Core Console Jocalhost(FaronicsCoreAdmin) ワークステーション マネージドワークステーション マネージドワークステーション マネージドワークステーション マネーシドワークステーション ロAR 投続 コスタム ワークステーション グルー マスク スクジュール設定しました アクティブ アラート レポート 	マネージドワークステーション 1ワークステーション					
	ワークステーション ■WorkstationClients	ステータス オンライン	Active Task	ノ(ージヨン 3.50.2100.30		



Faronics Core Console ユーザーインターフェイスのコンポーネント

[ワークステーションリスト]ペイン

[ワークステーションリスト]ペインには、Faronics Core で管理されるワークステーションが表示されます。次の欄に各ワークステーションの情報が表示されます (Product Loadins がインストールされていると追加の欄が表示されます。)

- ワークステーション ワークステーション名。ステータス ワークステーションがオンライン(Faronics Core Server にレポート)かまたはオフライン(Faronics Core Server にはレポートしない、またはネットワークから切断されている)かが示されます。
- アクティブなタスク ワークステーションで現在アクティブなタスク。進行中または実行直前(保留中)。この欄にはタスク名、タスクの状態(進行中/保留中)、およびすべてのワークステーションでタスクが開始した時間が表示されます。
- バージョン (Agent) ワークステーションにインストールされている Faronics Core Agent の バージョン。
- MACアドレス ワークステーションのMACアドレス。
- IPアドレス ワークステーションのIPアドレス。
- OSの種類 ワークステーションにインストールされたオペレーティングシステム。Agentの 最後のイベント - Faronics Core Agentによって報告された最後のイベント。

コンソールツリーペイン

Faronics Core Console ノードには複数の Faronics Core Server ノードを持たせることができます。 Faronics Core Server ノードの下に.次のコンポーネントがあります:[ワークステーション]、 [タスク]、[レポート]です。これらのノードの1つをクリックすると、[結果]ペインで表示される情報が変わります。

[アクション]ペイン

[アクション]ペインのアクションは選択したワークステーションに適用され、1台以上のワーク ステーションが選択されている場合にのみ表示されます。この[アクション]ペインは、右クリッ クのコンテキストメニューと同じものです。

[Faronics Core Console のプロパティ] ダイアログ

[Faronics Core Console のプロパティ]ダイアログは、コンソールツリーペインの [Faronics Core Console] アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択するとアクセスできます。各タブの 設定オプションに関する詳細は、「Faronics Core Console の手動設定」のセクションを参照して ください。

[Faronics Core Server のプロパティ] ダイアログ

[Faronics Core Server のプロパティ] ダイアログは、コンソールツリーペインの [Faronics Core Server 接続] アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択するとアクセスできます。



コンソールツリーペイン

コンソールツリーペインには次のノードがあります。

- Faronics Core Console これはルートノードです。
- Faronics Core Server 複数のサーバーノードが可能です。

Faronics Core Server では、ワークステーションの管理、タスクの処理、および Faronics Core Console とワークステーションの通信が行われます。Faronics Core Console と Faronics Core Server の各接続に対して1つの Faronics Core Server ノードがあります。

• ワークステーション – Faronics Core Server 1台に対して1台あります。

ワークステーションノードの下には、マネージドワークステーション、検出されたワークス テーション、およびカスタムワークステーショングループの3つのサブノードがあります。 カスタムワークステーショングループノードでは、ワークステーションのカスタムグループ を作成し、表示することができます。

タスク — Faronics Core Server 1台に対して1つあります。

[タスク]ノードには、すべての Server タスクの現在の状態が表示されます。タスクは、 1 台以上のワークステーションに適用されるアクションとして定義されます。[タスク]ノー ドを展開すると、タスクの状態を示す3つのサブノードが表示されます。[スケジュール設定 済み]ノードには、将来実行する予定のタスクが表示されます。[有効]ノードには、現在処 理されているタスクが表示されます。[履歴]ノードには、すでに完了したタスクが表示され ます。特定の日付より古いタスクは、自動的に削除されます。これは、[Faronics Core Server プロパティ]ダイアログの[サーバー]タブで設定することができます。

レポート – ルートノードの下にあります。

Product Loadin によって作成されたレポートを表示します。Loadin がインストールされてい ないと、レポートは作成されません。

アラート – ルートノードの下にあります。

アラートノードでは、Faronics 製品により送信された、イベントまたはステータスの変更に 関連する通知で、注意が必要なものが表示されます。製品に特定のものです。1 台または複数 台のワークステーションで Faronics Core Agent のアンインストールが行われると、Faronics Core によりアラートが作成されます。アラートは、深刻度、ステータス、期間、および製品 によってグループ化できます。アラートノードとそのさまざまなサブノードには、データベー スから削除されていないアラートが表示されます。

更新の確認

更新を確認するには、Faronics Core Console ノードをクリックします。確認が正常に行われるためには、[Faronics Core Console のプロパティ]の[コンソール]タブで[ニュースおよびアップ デート情報を得るために www.faronics.com にアクセスする]が選択されていなければなりません。このチェックボックスが選択されていない場合、Faronics Core Console ノードをクリックす ると、インストールされた現在のバージョンが表示されるだけで、最新バージョンの確認のため に www.faronics.com には接続されません。

LDAP グループ

ディレクトリサーバーで定義済みのワークステーショングループを使用することができます。 LDAP を介して検出されたワークステーションに Faronics Core Agent がインストールされると、 そのワークステーションは LDAP グループノードを介して直接管理することができます。これら のワークステーションをカスタムグループに追加することもできます。


カスタムワークステーショングループ

Windows 標準のクリップボード機能を使って、ワークステーションをカスタムグループに追加で きます。ワークステーションを切り取りまたはコピーして、グループの中に貼り付け(ドラッグ &ドロップ)します。グループを作成するには、[カスタムワークステーショングループ]アイコ ンを右クリックし、[サブグループの作成]を選択します。コンテキストメニューやアクションペ インから動的フィルタを追加または編集することもできます。



ワークステーションリストとタスクはFaronics Core Server に保存されますが、レ ポートはFaronics Core Consoleがインストールされたコンピュータにローカルで 保存されます。

Faronics Core Console のアクションペイン

Faronics Core Console の右側で利用できるコマンドと機能は、1 台以上のワークステーションを 選択して右クリックしても利用できます。アクションペインは、[表示]>[表示のカスタマイズ]から削除することができます。



使用できるアクションは、接続されたユーザーの権限に基づいています。

Faronics Core Console に特定のタスクには次のものがあります。

- シャットダウン-1台以上のワークステーションを選択し、即座にまたは後でシャットダウンします。
- 再起動-1台以上のワークステーションを選択し、即座にまたは後で再起動します。
- メッセージの送信-1台以上のオンラインワークステーションを選択して、メッセージを送信します。最後のメッセージの内容が、再使用のために保存されます。
- 注意を作成する-1台以上のワークステーションを選択して、注意事項を追加できます。注意 事項を追加すると、以前の注意事項が置き換えられます。注意事項は、オンライン、オフラ イン、管理または非管理に関らず、どのワークステーションにも追加できます。
- タスクアクティビティ ワークステーションを選択して、[タスクアクティビティ]をクリックすると、そのワークステーションで現在アクティブなタスクおよび[履歴]から削除されていない過去のタスクを確認できます。[タスクアクティビティ]で表示できるのは、一度に1台のワークステーションのみです。
- ウェイクアップ-1台以上のワークステーションを選択すると、即座にまたは後で Wake-On-LAN が実行されます。
- リモートからの起動-実行可能ファイルまたはインストーラをワークステーションでリモートから起動します。
- Windows の更新 管理されたワークステーションで Windows を更新します。
- リモート接続 管理されたワークステーションまたは検出されたワークステーションにリ モート接続します。



- ステータスの取得 選択したワークステーションのステータスを取得します。ワーク ステーションからのステータスは、[ワークステーションリスト]ペインで更新されます。
- Faronics Core 1 台以上のワークステーションを選択し、Faronics Core メニューを選択します。次のオプションがあります。
 - Faronics Core Agent のインストール Faronics Core Agent を即座にまたは後でインストールできます。
 - Faronics Core Agent のアップグレード Faronics Core Agent を即座にまたは後でアップ グレードできます。
 - Faronics Core Agent のアンインストール Faronics Core Agent を即座にまたは後でアン インストールできます。
- レポートの生成 1 台以上のワークステーションを選択し、Product Loadin に関する適切な レポートを選択します。
- 表示 カラムの追加や削除、および表示のカスタマイズができます。
- リフレッシュ ワークステーションのステータス(オンライン/オフライン)をリフレッシュします。
- リストのエクスポート ワークステーションリストを.csv または.txtの形式でエクスポートできます。
- データベースから削除 リストから1台以上のワークステーションを削除できます。ワーク ステーションを再起動した場合、またはコンソールコンピュータに情報を送信しようとする 場合、ワークステーションはリストに再度表示されます。ワークステーションから Faronics Core Agent をアンインストールすると、その Faronics Core Agent はリストには表示されま せん。



データベースからワークステーションを削除すると、ワークステーションの データと設定は永久に削除されます。ワークステーションが Faronics Core Consoleに接続して、新しいレポートが作成されても、データベースから削除さ れる前のワークステーションの詳細は含まれません。

 コピー - ワークステーションをコピーして、カスタムワークステーショングループまたはサ ブグループに貼り付けできます。



Faronics Core Console では複数のユーザーを設定して管理できます。ユーザーはいくつかのロールに応じて異なるグループに割り当てることができます。

ユーザーの作成

- ユーザーを作成して管理するには、次の手順を実行します。
- 1. Faronics Core Server を右クリックして、[ユーザーとロールの管理]を選択します。
- 2. [ユーザー管理]ダイアログが表示されます。[ユーザーの作成]をクリックします。

ユーリー) ーザー(1)	-管理		榆索·		- E	Clea
有効	ユーザー FampingCore Ad	Faronics Core Console 浴계보	12.70.	- / 8/(1842)		0.00
		B-1.8				
	ብት የደር በ ተቶ				「 つ ー Ħ ー M T 力 ス ポ・	

3. [ユーザーの作成]ダイアログが表示されます。

📮 ユーザーの作成	×
ユーザーID: 	
パスワード:	パスワードの再入力:
電子メールアドレス:	
Core Consoleのユーザーロール ユーザー ・	詳細
	作成 閉じる



次のフィールドに値を指定します。

- ユーザー ID ユーザーの ID を指定します。
- パスワード パスワードを指定します(パスワードには8~15文字の長さの英数字を使い、大文字、小文字、数字で構成します)。
- パスワードの再入力 パスワードを再入力します。
- 電子メールアドレス ユーザーの電子メールアドレスを入力します。
- Faronics Core Consoleのユーザーロール [管理者]、[パワーユーザー]、[ユーザー]、または[ゲスト]の中からユーザーのロールを選択します。
- 4. [作成]をクリックします。ユーザーが作成されます。

ノユーザ-	-管理			- • •
ユーザ <mark>ー(2</mark>)			検索:	ユーザーまたは電子メールアドレス Clear
有効	ユーザー	Faronics Core Console		
	FaronicsCoreAd johndoe	管理者 ユーザー		

ユーザーロールの許可

[ユーザーの作成]または[ユーザーの編集]ダイアログの[Faronics Core Console のユーザー ロール]ドロップダウンにより、ユーザーをユーザーロールに割り当てることができます。

管理者、パワーユーザー、ユーザー、ゲストの各ユーザーロールには、次の操作が許可されます。

ユーザーロール	許可される操作
管理者	• ユーザーの管理
	 データベース接続の管理
	• Server での秘密鍵のエクスポート
	 パワーユーザーに許可されるその他すべての操作
パワーユーザー	• アクションのスケジュール設定
	• Agentのインストール/アップグレード/アンインストール
	 ユーザーというロールに許可されるその他すべての操作



ユーザーロール	許可される操作
ユーザー	• 基本的なタスクの実行(シャットダウン/再起動)
	• アクションのスケジュール設定
	• ワークステーションの起動
	・ レポートの作成
	 ゲストというロールに許可されるその他すべての操作
ゲスト	• すべてのワークステーションの表示
	• Loadinがインストールされている場合、そのレポートの作成



ユーザーロールのユーザーは、自分で作成したスケジュールタスクのみを編集または削除できます。管理者とパワーユーザーは、すべてのタスクを編集または削除できます。



あるユーザーが高位のロール(例、パワーユーザー)から低位のロール(例、ユー ザー)に降格した場合、そのユーザーによって作成されたスケジュールタスクは 実行されません。



ユーザーが無効になった場合も、そのユーザーによって作成されたスケジュール タスクは実行されません。



Loadin がインストールされると、既存のユーザーを新しい Loadin に特定のロー ルに割り当てる必要があります。

ユーザーの編集

ユーザーが作成されると、必要に応じて資格情報を編集できます。

ユーザーを編集するには、次の手順を実行します。

- 1. Faronics Core Server を右クリックして、[ユーザーとロールの管理]を選択します。
- 2. [ユーザー管理]ダイアログが表示されます。編集するユーザーを選択して、[ユーザーの編集]をクリックします。



有効	ユーザー	Faronics Core Console	
1	FaronicsCoreAd	管理者	
V	johndoe	ユーザー	

3. [ユーザーの編集]ダイアログが表示されます。

- JUMASHE	
ユーザ <mark>ーI</mark> D:	
johndoe	
パスワード:	パスワードの再入力:
•••••	•••••
電子メールアドレス:	
johndoe@faronics.com	
Core Console(0.7 - H-0 - II.	
	=¥4m
追加製品のフーザーロール:	

必要に応じて、次のフィールドの値を編集します。

- ユーザー *ID* ユーザーの ID を指定します。
- パスワード パスワードを指定します(パスワードには8~15文字の長さの英数字を使い、大文字、小文字、数字で構成します)。
- パスワードの再入力 パスワードを再入力します。
- 電子メールアドレス ユーザーの電子メールアドレスを入力します。
- Faronics Core Consoleのユーザーロール [管理者]、[パワーユーザー]、[ユーザー]、 または[ゲスト]の中からユーザーのロールを選択します。
- 4. [OK] をクリックします。ユーザーが編集されます。[閉じる] をクリックします。



	- 11	F i D D i	12.78.	
4¶,XU ▼ ▼	FaronicsCoreAd johndoe	Faronics Core Console 管理者 パワーユーザー		

ユーザーの有効化または無効化

ユーザーは Faronics Core Console から有効化または無効化できます。無効化されたユーザーは、 Faronics Core Console でアクションを実行することはできません。無効化されたユーザーを必要 に応じて有効化することができます。

ユーザーを編集するには、次の手順を実行します。

- 1. Faronics Core Server を右クリックして、[ユーザーとロールの管理]を選択します。
- 2. [ユーザー管理]ダイアログが表示されます。ユーザーを選択します。
- 有効化 ユーザーを有効にするには、[有効]チェックボックスを選択します。
- 無効化 ユーザーを無効にするには、[有効]チェックボックスの選択を解除します。

📮 ユーザー	·管理			
ユーザ <mark>ー(2</mark>)			検索: ユーザーまたは電子メールアドレス	Clear
有効	ユーザー	Faronics Core Console		
	FaronicsCoreAd	管理者		
V	johndoe	パワーユーザー		
ユーザー	の作成 ユーザー	-の編集 ユーザーの削除	ユーザーのインボート) ユーザーのエクス	スポート
				閉じる



ユーザーが無効になった場合、そのユーザーによって作成されたスケジュールタ スクは実行されません。



カスタムワークステーショングループ

Faronics Core Console で、動的カスタム ワークステーション グループ、静的カスタム ワークス テーション グループ、混在カスタム ワークステーション グループを作成することができます。



特定のProduct Loadinをインストールすると、コンソールツリーペインのProduct Loadinの下に動的カスタムワークステーショングループが自動的に作成される 場合があります。このグループはその特定のProduct Loadinに固有のものです。 Loadinによって作成されたグループには編集できるものもありますが、グループ を作成したProduct Loadinに応じて、読み取り専用のグループもあります。詳細 は、Product Loadinのユーザーガイドを参照してください。

動的カスタムワークステーショングループ

複数のマネージドワークステーションがある場合、Faronics Core Console は 動的カスタム ワー クステーション グループを作成する機能を提供します。この機能により、事前に定義されたパラ メータに基づいて、ワークステーショングループを作成し、動的にワークステーションリストを 更新することができます。

動的カスタムワークステーショングループを作成するには、次の手順を実行します。

1. [アクション]ペインで、カスタムワークステーショングループを右クリックして、[サブグ ループの作成]を選択します。



2. グループの固有の名前を入力し、[OK]をクリックします。

🧕 グループの作成	×
グループ名の入力:	
OK(0) キャンセル	

3. サブグループを右クリックして、[動的フィルタの追加]を選択します。[グループテストの 動的ルール]ダイアログが表示されます。



Q 'test'の動的フィルタ
ワークステーションの現在のステータスがチェックされたルールのいずれかと一致する場合、lest'に表示されます。
ルール名:
(
ルールを迫加 ルールの編集 ルールを削除
ルールの詳細を選択:
 OK キャンセル

- 4. [追加]をクリックします。[ルールエディタ]ダイアログが表示されます。
- 5. [追加]をクリックします。[文節エディタ]ダイアログが表示されます。

🖳 文節エディタ		
文節の編集		
コラム:	比較:	値:
IP アドレス	▼ 一致	▼ 192.168.1.5
	□ バージョン	
	📃 大文字/小文	て字の区別
	📃 単語単位	
		OK +++)/7/

6. [コラム]、[比較]、[値]フィールドに適切な値を選択するか指定します。[OK]をクリック します。ルールが作成され、[ルールエディタ]ダイアログに表示されます。[OK]をクリック します。



- [コラム]フィールドで利用できるオプションには、次のものがあります。
 - 製品
 - ワークステーション
 - バージョン(エージェント)
 - ー MACアドレス
 - IPアドレス
 - OS の種類
 - 最後のエージェントイベント
- [コラム]ドロップダウンリストで選択したオプションに応じて、[比較]ドロップダウンリストに次のオプションが表示されます。
 - 等しい
 - 等しくない
 - 大きい
 - 以上
 - 未満
 - 以下



[コラム]と[比較]のドロップダウンリストに表示されるオプションは、お使い のシステムにインストールされた Loadin によって異なります。表示されている Loadin は、Faronics Core Console のインストールの一部ではありません。Loadin は別途ライセンスされて、インストールされます。

• [値]フィールドには、あらゆる数値を指定できます。

この例では、次のオプションを選択しています。

📮 文節エディタ			
文節の編集			
<u>а</u> 54:	比較:	値:	
IP アドレス	▼] ─致	▼ 192.168.1.5	
	□ バージョン		
	□ 大文字/小文	字の区別	
	□ 単語単位		
		OK キャンセル	

7. 前の手順で作成したサブグループをダブルクリックします。次の結果は指定したルールに基づいて表示されます。次の画面は、動的カスタムワークステーショングループとそのアイコンがワークステーションの隣に表示されている状態を示しています。



静的カスタムワークステーショングループ

静的カスタムワークステーショングループは、ワークステーションリストの中の管理されたワー クステーションをカスタムワークステーショングループの下のサブフォルダにドラッグ&ドロッ プすることによって作成できます。または、1 台もしくは複数のワークステーションを右クリッ クして、[コピー]を選択し、カスタムワークステーショングループのサブフォルダにワークス テーションを貼り付けることもできます。

混在カスタムワークステーショングループ

混在カスタムワークステーショングループを作成するために、動的フィルタを作成し、静的カス タムワークステーショングループに追加することができます。



ワークステーションを選択して、[削除]を押すと、静的ワークステーショング ループのワークステーションを削除できます。動的カスタムワークステーション グループ内のワークステーションは削除できません。動的カスタムワークステー ショングループ内のワークステーションを削除するには、フィルタを修正するか 削除します。





タスクをスケジュール設定するには、次の手順を実行します。

タスクのスケジュールは、個々のワークステーションのために、または複数のワークステーションを選択することで作成できます。タスクをスケジュールするには、次の複数の方法があります。

・1 台以上のワークステーションを右クリックして、コンテキストメニューから Faronics Core または Product Loadin アクションを選択します。

- ・1 台以上のワークステーションを選択し、アクションペインからアクションを選択します。
- タスクを今すぐアップデートするかスケジュール設定するかを指定し、以下の詳細設定を選 択します。
- タスクを実行する前に、オフラインのワークステーションを起動する このオプションを選 択すると、ワークステーションでタスクが実行される前に、オフラインのワークステーションが起動します。
- 次の時間内にオンラインになったワークステーションでタスクを実行する このチェックボックスを選択すると、オフラインのワークステーションがFaronics Core Serverと再び通信できるようになったときに、アクションが再試行されます。このオプションを選択すると、オフラインになったコンピュータがオンラインに戻るか、または待ち時間が経過するか、いずれか早い時まで、タスクがコンソールツリーペインの[アクティブ]ノードに残ります。値を入力します。期間を日(最低1、最大365)、時間(最低1、最大168)、または分(最低3、最大1140)で選択します。

🔋 再起動中 タスク構成
再起動中: ④ 今す ⁽)
◎ すべてのワークステーションに対して タスクを再試行します
高度な設定
🕡 タスクを実行する前に、オフラインのワークステーションを起動する
🔲 次の時間内にオンラインになったワークステーションでタスクを実行する 1 😓 時間 💌 タスクの開始時から
詳細 OK キャンセル



2つのタスクが順に実行される場合、2番目のタスクが待機するように設定されて おらず、ワークステーションがオフラインであることを1番目のタスクが検出し た場合、2番目のタスクは実行されません。2番目のタスクがワークステーション がオンラインになるまで待機するように設定されている場合、両方のタスクは予 め設定された時間待機し、その時間内にワークステーションがオンラインになっ た場合に実行されます。

3. 頻度(1回、毎日、毎週、毎月)を選択します。選択した頻度に応じて表示される追加オプション(時間、日付、日または月)を選択します。



• 1 🗆

● 再起動中 タスク構成 ■23
再起動中: ○ 今すぐ ◎ すべてのワークステーションに対して タスクを再試行します
 ● 1回 起動 17:27:53
高度な設定 図 タスクを実行する前に、オフラインのワークステーションを起動する
次の時間内にオンラインになったワークステーションでタスクを実行する 5000000000000000000000000000000000000

毎日

•

 再起動中 タスク構成
再起動中: ● 今すぐ ● すべてのワークステーションに対して タスクを再試行します
 1回 起動 17:27:53
 ○ 毎週 繰り返し頻度: 1 ⇒ 日ごと ○ 毎月
高度な設定 ② タスクを実行する前に、オフラインのワークステーションを起動する ② 次の時間内にオンラインになったワークステーションでタスクを実行する 1 😓 時間 👻 タスクの開始時から
詳細 OK キャンセル



• 毎週

📮 再起動中 タスク様	構成
再起動中: ○ 今すぐ ◎ すべてのワークス:	テーションに対して タスクを再試行します
◎ 1回	起動 17:27:53 🔄 2011年12月13日
◎ 毎日	
● 毎週	線り返し頻度: 1 😴 曜日:
◎ 毎月	日曜 月曜 火曜 水曜
	□ 木曜 □ 金曜 □ 土曜
高度な設定	
☑ タスクを実行する	る前に、オフラインのワークステーションを起動する
📄 次の時間内にお	オンラインになったワークステーションでタスクを実行する 1 🔄 時間 🔹 タスクの開始時から
	OK キャンセル

毎月

○ 1回	起動 17:27:53 🔿 2011年12月13日
◎ 毎週	
◎ 毎月	◎ 頻度: 第1週 ▼ 日曜日 ▼ 月:
	□ 1月 □ 3月 □ 5月 □ 7月 □ 9月 □ 11月 □ 2月 □ 4月 □ 6月 □ 8月 □ 10月 □ 12月
高度な設定	

4.[OK] をクリックします。



ユーザーロールのユーザーは、自分で作成したスケジュールタスクのみを編集または削除できます。管理者とパワーユーザーは、すべてのタスクを編集または削除できます。



タスクがスケジュール設定されたワークステーショングループの変更

- タスクを一旦作成すると、タスクが設定されたワークステーションは次の方法で変更することが できます。
- コンソールツリーペインの[マネージドワークステーション]ノードから、コンソールツリーペインの[タスク]の下の[スケジュール設定済み]の中の任意のタスクに1台または複数のワークステーションをドラッグ&ドロップします。新たにワークステーションが追加されたことにより、タスクが更新されます。
- コンソールツリーペインの[マネージドワークステーション]ノードで1台または複数のワーク ステーションを右クリックして、[コピー]を選択します。コンソールツリーペインの[タスク]の下の[スケジュール設定済み]の中にある任意のタスクを右クリックして、[貼り付け]を選 択します。新たにワークステーションが追加されたことにより、タスクが更新されます。

スケジュール設定されたアクションの表示、編集、再実行、キャンセル

タスクの表示

タスクを作成すると、コンソールツリーペインの [タスク]ノードに表示されます。タスクは、次のように、スケジュールされている時間でグループ化されます。

- 将来および繰り返されるタスクは、[スケジュール設定済み]に表示されます。
- 現在実行中のタスクは、[有効]に表示されます。
- 以前実行されたタスクは、[履歴]に表示されます。

タスクの編集

タスクを編集するには、次の手順を実行します。

- 1. コンソールツリーペインの[タスク]の下の[スケジュール設定済み]の中にある任意のタス クを選択します。
- 2. タスクを右クリックして、[スケジュールの編集 ...]を選択します。
- 3. [スケジュールタスク]ダイアログが表示されます。
- 4. タスクを編集して、[OK] をクリックします。

[グループアクション]を使ってタスクを作成している場合、タスクはすべてのワークステーションで編集され適用されます。タスクの編集中に、タスクの実行時間になった場合、[スケジュールタスク]ダイアログを閉じるまでは、タスクは実行されません。

タスクの再実行

タスクを再実行するには、次の手順を実行します。

1. コンソールツリーペインの [タスク]の下の [履歴]の中にある任意のタスクを選択します。



- 2. タスクを再実行するには、次の手順を実行します。
 - タスクが実行されなかったワークステーションでタスクを再実行するには、タスクを右ク リックして、[タスクが失敗したワークステーション(x)に対して再実行]を選択します。 すべてのワークステーションでタスクを再実行するには、タスクを右クリックして、[す べてのワークステーション(x)に対してタスクを再実行]を選択します。
 - すべてのワークステーションでタスクを再実行するには、[すべてのワークステーション]
 を右クリックして、[タスク(x)を再実行]を選択します。タスクが実行されなかったワークステーションでタスクを再実行するには、[失敗]を右クリックして、[タスク(x)を再実行]を選択します。タスクが実行されたワークステーションでタスクを再実行するには、[成功]を右クリックして、[タスク(x)を再実行]を選択します。
 - xはこのオプションのワークステーション数を表します。
- 3. タスクが再実行されます。

キャンセル

タスクをキャンセルするには、次の手順を実行します。

- 1. コンソールツリーペインの [タスク]> [アクティブ]の中にある任意のタスクを選択します。
- 2. タスクを右クリックし、[キャンセル]を選択します。
- 3. タスクがキャンセルされます。

タスクが現在ワークステーションで実行中の場合、キャンセルされません。キャンセル中にワー クステーションでタスクが開始していない場合、タスクが実行される前にキャンセルされます。

名前の変更

タスクの名前を変更するには、次の手順を実行します。

- 1.コンソールツリーペインの[タスク]>[スケジュール]の中にある任意のタスクを選択します。
- 2. タスクを右クリックして、[名前の変更]を選択します。
- 3. 新しい名前を指定して、[OK] をクリックします。



Product Loadin により、ワークステーションからデータベースにレポートされたデータを編集し、 レポートを作成する機能が追加されます。作成したレポートは、コンソールツリーペインの[レ ポート]ノードに表示されます。

レポートの電子メール送信、印刷、および名前の変更

レポートの電子メール送信

- 1. コンソールツリーペインの[レポート]から任意のレポートを選択します。
- 2. 選択したレポートを右クリックします。
- 3. [レポートの電子メール送信]を選択します。
- 4. レポートが添付された状態で、デフォルトの電子メールプログラムが起動します。
- 5. 電子メールアドレスを入力し、[送信]をクリックします。

レポートの印刷

- 1. コンソールツリーペインの[レポート]から任意のレポートを選択します。
- 2. 選択したレポートを右クリックします。
- 3. [レポートの印刷]を選択します。
- 4. プリンターを選択し、[印刷]をクリックします。

レポート名の変更

- 1. コンソールツリーペインの[レポート]から任意のレポートを選択します。
- 2. 選択したレポートを右クリックします。
- 3. [名前の変更]を選択します。
- 4. 新しい名前を指定して、[Enter]を押します。

レポートノードの下のレポート名が新しい名前に変更されます。ただし、レポートを開いたときのレポート内の名前には、レポートを作成したときに指定した名前が表示されます。



オンラインワークステーションへのメッセージの送信

オンラインワークステーションにメッセージを送信するには、次の手順を実行します。

- 1. 以下のいずれかの方法でオンラインワークステーションにメッセージを送信できます。
- ・ 台以上のワークステーションを右クリックし、コンテキストメニューから[メッセージの送信]
]を選択します。
- ・ 台以上のワークステーションを選択して、アクションペインから[メッセージの送信]を選択します。
- [マネージドワークステーション]を右クリックして、コンテキストメニューまたはアクションペインから[メッセージの送信]を選択して、すべてのワークステーションにメッセージを送信します。
- [マネージドワークステーション]>[カスタムワークステーショングループ]>[グループ名]
 を右クリックして、コンテキストメニューまたはアクションペインから[メッセージの送信]
 を選択して、すべてのワークステーショングループにメッセージを送信します。
- [メッセージ]フィールドにメッセージを入力します。[メッセージの内容を保存する]を選択して、メッセージの内容を再使用のために保存します。最後のメッセージの内容のみが保存されます。[次へ]をクリックします。

メッセージの送信	×
オンラインワークステーションにメッセージを送信する。 メッセージ:	
このコンピュータではしばらくするとメンテナンスが開始します。 作業を保存して、 実行中の べて終了してください。	プログラムをす
メッセージの内容を保存する 次へ 次へ	キャンセル

3. タスクを即座にアップデートするか、または後でアップデートするかを指定します。後でアッ プデートする場合、頻度(1回、毎日、毎週、毎月)を選択します。選択した頻度に応じて表示さ れる追加オプション(時間、日付、日または月)を選択します。

4.[OK] をクリックします。



ワークステーションに関する注意事項の作成

オンラインワークステーションに関する注意事項を作成するには、次の手順を実行します。

- 1. 注意事項は、オンライン、オフライン、管理または非管理に関らず、次のいずれかの方法で 1台以上のワークステーションに添付できます。
 - 1台以上のワークステーションを右クリックし、コンテキストメニューから[注意を作成 する]を選択します。
 - 1台以上のワークステーションを選択し、[アクション]ペインから[注意を作成する]
 を選択します。
 - [マネージドワークステーション]を右クリックして、コンテキストメニューまたは[ア クション]ペインから[注意を削除する]を選択して、すべてのワークステーションに関 する注意事項を作成します。
 - [マネージドワークステーション]>[カスタムワークステーショングループ]>[グループ名]の順に右クリックして、コンテキストメニューまたは[アクション]ペインから[注意を作成する]を選択して、グループ内のすべてのワークステーションに関する注意事項を作成します。
- 2. [注意事項を入力してください]フィールドにメッセージを入力します。[保存]を選択して、注意事項を保存します。既存の注意事項があれば、上書きされます。

Enter note (max. 140 ch	aracters):
I	
Date added: 2012/11/	20
警告:この注意を保存す	ると、既存の注意が上書きされます。



ワークステーション上で実行可能ファイルまたはインストーラをリモート起動 する

この機能により、IT 管理者は管理されているワークステーション上で実行可能ファイルをリ モート起動できます。実行可能ファイルは、Faronics Core により管理されているネットワーク にある複数のワークステーション上にリモートでインストールできます。サポートされるファ イルのタイプは、.exe(実行可能ファイル)、.msi(MSIインストーラ)、および.bat(バッチス クリプトファイル)です。MSIインストーラを選択すると、MSIEXECを使って Faronics Core Agent により実行されます。

ワークステーション上で実行可能ファイルをリモート起動するには、次の手順を実行します。

- 1. 以下のいずれかの方法で、実行可能ファイルをワークステーションで起動できます。
 - 1台以上のワークステーションを右クリックし、コンテキストメニューから[リモート起動]を選択します。
 - 1台以上のワークステーションを選択し、[アクション]ペインから[リモート起動]を 選択します。
 - 管理されたワークステーションを右クリックし、コンテキストメニューまたは[アクション]ペインから[リモート起動]を選択し、すべてのワークステーション上で実行可能ファイルまたはインストーラをリモート起動します。
 - 管理されたワークステーション > カスタムワークステーショングループ >[グループ名]
 を順に右クリックし、コンテキストメニューまたは[アクション]ペインから[リモート起動]を選択し、グループ内のすべてのワークステーション上で実行可能ファイルまたはインストーラをリモート起動します。
- 2. 次のフィールドで値を指定して、[次へ]をクリックします。

袁隔起動		
選択したワークステー:	ションでファイルを転送して	て起動する
ファイル名とパス:		参照
引数:		
ファイル名を指定して システム	夷行:	
名前:		
パスワード:		
言筆糸田		次へ キャンセル

- ファイル名とパス コンソールコンピュータで利用可能なファイル名とそのファイルへのパスを指定します。または、参照して実行可能ファイルを選択します。サポートされるファイルのタイプは、.exe(実行可能ファイル)、.msi(MSIインストーラ)、および.bat(バッチスクリプトファイル)です。たとえば、実行可能な MyApplication.exe が C:/AppFolder にある場合、C:/AppFolder/MyApplication と指定します。
- 引数 この実行可能ファイルに適用する引数を指定します。たとえば、実行可能ファイルが コマンドプロンプトから、C:\AppFolder\MyApplication -o logFile.log というコマンドで実

行される場合、引数に -o logFile.log を指定します。.msi ファイルには、MSIEXEC で .msi ファイルを起動するときに通常指定する引数を指定します。.msi ファイルに引数を指定しな いと、Core Agent により自動的に「/i」(インストール)が追加されます。Faronics Core Agent ではディスプレイオプションも /qn(簡易、UI なし)で置き換えられます。

- 実行者 ワークステーション上でこの実行可能ファイルを実行するユーザを選択します。シ ステムまたはユーザを選択します。ユーザの名前およびパスワードを指定します。
- タスクを即座に実行するか、または後で実行するかを指定します。ユーザロールのユーザ は、自分で作成したスケジュールタスクのみを編集または削除できます。管理者とパワー ユーザは、すべてのタスクを編集または削除できます。
- 4. [OK] をクリックします。



Faronics Core はファイルが起動されたかどうかがわかります。ファイルが正常に実行されたかどうかはわかりません。



ワークステーションでの Windows の更新

この機能により、IT 管理者はマネージド ワークステーションで Windows の更新をリモート実 行できます。

ワークステーションで Windows の更新を実行するには、次の手順を実行します。

- 1. [Update Windows] コマンドは、次のいずれかの方法で実行できます:
 - 1台または複数のワークステーションを右クリックし、コンテキストメニューから [Update Windows]を選択します。
 - 1台または複数のワークステーションを選択し、[アクション]ペインから[Update Windows]を選択します。
 - [マネージド ワークステーション]を右クリックして、コンテキストメニューまたは[ア クション]ペインから [Update Windows]を選択してすべてのワークステーションで Windows を更新します。
 - [マネージドワークステーション]>[カスタムワークステーショングループ]>[グ ループ名]の順に右クリックして、コンテキストメニューまたは[アクション]ペイン から[Update Windows]を選択してグループ内のすべてのワークステーションで Windowsを更新します。
- 2. 次のフィールドの値を指定し、[次へ]をクリックします。
- [Windows を更新する前に、ワークステーションを再起動する] Windows の更新を開始する前にワークステーションを再起動するには、このオプションを選択します。
- [Windows を更新した後に、ワークステーションを再起動する]-保留中のすべての [Windows Updates] をインストールした後にワークステーションを再起動するには、このオ プションを選択します。このオプションには、更新の構成に必要な再起動は含まれません。
- [WSUS サーバーを使用] このオプションは、Windows Server Update Services (WSUS) を 利用している場合に選択します。このオプションを使用すると、Faronics Core で Windows Updates を管理できます。このオプションを選択後、次の値を指定してください。
 - WSUS サーバー アドレス Windows Updates のダウンロード元となる WSUS サーバー アドレスを指定します。
 - WSUS ターゲット グループ WSUS ターゲット グループを指定します。
- 3. [次へ]をクリックします。
- タスクを*今すぐ*または後で実行する必要があるか指定します。このアクションは、管理者お よびパワーユーザーのみ使用できます。
- 5. [OK] をクリックします。





Windows の Service Pack は、WSUS Server を利用している場合にのみ、 Faronics Core の Update Windows 機能で更新できます。



Faronics Core の Update Windows 機能は、Windows Update の GPO 設定を無効 にします。



オンライン ワークステーションへのリモート接続

この機能により、IT 管理者はマネージド ワークステーションまたは検出されたワークステーションにリモート接続できます。

ワークステーションにリモート接続するには、次の手順を実行します。

- 1. 1台のワークステーションを右クリックして、[*リモート接続*]を選択します。または、[*ア クション*]ペインで[*リモート接続*]をクリックすることもできます。
- [Windows セキュリティ]ダイアログで[ユーザー名]と[パスワード]を指定します。[OK] をクリックします。
- 3. [リモート デスクトップ接続]ダイアログに、「*リモート コンピュータの ID を確認できません。続行しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい*]をクリックします。

これで、リモートデスクトップ接続が確立されます。



デフォルトでは、Core はマネージド ワークステーションの IP アドレスおよびア ンマネージド ワークステーション名で接続しようとします。この設定は、コン ソール プロパティから [*リモート接続でワークステーションにアドレスを付け* る]のオプションを変更すると変更できます。



リモート デスクトップを使用して接続する際には、リモート接続を許可するよ うワークステーションを設定しておく必要があります。たとえば、Windows7 では、[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択します。[シ ステムの詳細設定]をクリックして[リモート]タブをクリックします。[リ モート デスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する]を選 択して、[OK]をクリックします。Windows コンピュータ のリモート接続につい ては、Windows のユーザードキュメントを参照してください。



オンライン中のワークステーションからステータスを取得する

[ワークステーションリスト]ペインの中のワークステーションのステータスを更新するには、 以下の手順を実行します。

- 1. 1台のワークステーションを右クリックして、[ステータスの取得]を選択します。代わり に、[アクション]ペインで[ステータスの取得]をクリックすることもできます。
- 2. [ワークステーションリスト]ペインの各列のワークステーションのステータスが更新され ます。

[更新]オプションは、Faronics Core データベースですでに利用可能な情報にアクセスするだけ です。一方、[ステータスの取得]オプションは選択したワークステーションのステータスを伝 えます。



アラートの設定

アラートは Faronics Core および Loadin に対して設定できます。

アラートを設定するには、次の手順を実行します。

コンソールツリーペインで[アラート]を右クリックし、[アラートの設定]を選択します。
 [ステータス]タブで次のオプションを選択します。

マラートの設定 X
ステータス 電子メールサーバー Faronics Core Power Save
アラート: 💟 有効化 電子メール通知: 🔲 有効化 電子メールサーバーが設定されていません
アラートの肖明絵: 7 🚖 日後 (今肖明条)
OK キャンセル

- アラート: [有効化]を選択すると、Faronics Coreのアラート機能が有効になります。
- 電子メール通知:[有効化]を選択すると、電子メール通知が有効になります。
- x 日経過したアラートを削除する:アラートが保存される日数を選択します。アラートを削除するには、[今削除]をクリックします。
- 3. [電子メールサーバー]タブで次のオプションを選択します。

SMTPサーバー:			
SMTPポート:	25		
	🔲 SSLの使用		
SMTPユーザー:			
SMTPパスワード:			
		テスト	



- SMTP サーバー: SMTP サーバーを指定します。
- SMTP ポート: SMTP ポートを指定します(デフォルトのポート番号は 25 です)。
- SSLの使用: SSLを使用する場合は、[SSLの使用] チェックボックスを選択します。
- SMTP ユーザー: SMTP ユーザーを指定します。
- SMTP パスワード: SMTP パスワードを指定します。
- [テスト]をクリックして、接続をテストします。
- 4. [Faronics Core] タブで次のオプションを選択します。

テータス	電子メールサーバー	Faronics Core	Power Save			
Faronics	Coreアラートのための「	電子メール通知の	D設定			
Faronics	Coreが必要とする1つ	以上のドライブの	容量が一杯にた	りかけてい	ます	
電子メー	ル通知を送信するため	bに、受信者のア	ドレスを追加して	ください		
Faronics	Coreが必要とするSQ	L Expressデータ/	ベースの容量が-	・杯になり	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ル通知を送信するため	L Expressデータ bに、受信者のア	ベースの容量が- ドレスを追加して	・杯になりが ください	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ル通知を送信するため	L Expressデータ bに、受信者のア	ミースの容量が- ドレスを追加して	・杯になり ください	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ルi通知を送信するため	L Expressデータ / D(こ、受信者のア	ミースの容量が- ドレスを追加して	・杯になり ください	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ルi通知を送信するため	L Expressデータ / b(こ、受信者のア	ミースの容量が- ドレスを追加して	・杯になり ください	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ル通知を送信するため	L Expressデータ / b(こ、受信者のア	ミースの容量が- ドレスを追加して	・杯になり ください	かけています	
Faronics 電子メー	Coreが必要とするSQ ルが通知を送信するため	L Expressデータ b(こ、受信者のア	マースの容量が- ドレスを追加して	-杯になり べださい	かけています	

アラートの電子メールアドレスを入力して、[適用]をクリックします。
 [OK]をクリックします。



Faronics Core Agent の設定

Faronics Core Agent の配備後に、Faronics Core Agent の設定を Faronics Core Console から変更 することができます。ワークステーションを右クリックして、[Core_Server_Name] > [ワーク ステーションの設定] > [Faronics Core Agent の設定]を選択します。次のダイアログで必要な 設定を変更します。

接続	トラフィックパスワード	
Faronics Core	Agentがレポートするサーバー:	
Faronics Core	Agentがコマンドをリッスンするポート:	
🗌 ワークステ・	-ションはWake-on-LAN (WOL)リレーとして機能する(W)	
🗌 ワークステー	-ションはWake-on-LAN (WOL)リレーとして機能する(W)	
 ワークステー コークステー 	-ションはWake-on-LAN (WOL)リレーとして機能する(W)	
□ ワークステ・ ステータス: WIN-06AIS	-ションはWake-on-LAN (WOL)リレーとして機能する(W) 42RTQJの設定を取得しています。	
□ ワークステ・ ステータス: WIN-O6AIS	-ションはWake-on-LAN (WOLJリレーとして機能する(W) 42RTQJの設定を取得しています。	

- 接続タブ
 - Faronics Core Agent がレポートするサーバー このドロップダウンにはワークステーションが通信するサーバーが表示されます。このフィールドは変更できません。
 - Faronics Core Agent がコマンドをリッスンするポート このフィールドには Faronics
 Core Agent がリッスンするポートが示されます。初期設定のポート番号は 7751 です。
 - ワークステーションは Wake-on-LAN (WOL) リレーとして機能する ワークステーションを Wake-on-LAN (WOL) リレーとして機能させるには、このチェックボックスを選択します。
- トラフィックタブ

接続 トラフィック パスワード	
スロットル: (更新はFaronics Core Server(こ次の頻度で送信されます)	30 🔹 秒 👻
ハートビート: (更新はFaronics Core Server(こ最低でも)次の頻度で送信されます)	1 🗼 時間 👻
ステータス: WIN-06AI942RTQJの設定を取得しています。	



- スロットル [更新は Faronics Core Server に次の頻度で送信されます]の値を分と秒で選択します。これは、管理されたワークステーションが Faronics Core Server にレポートする最大の回数です。
- ハートビート [更新は Faronics Core Server に最低でも次の頻度で送信されます]の値を 分と秒で選択します。これは、管理されたワークステーションが Faronics Core Server に レポートする最大の回数です。
- ・ パスワードタブ

Faronics Core Agent())	コーカルアンインストー		*	
↓ バスワードを有効にす	1 3	-ルバスワードを	変更する	
パスワード(P):	•••••			
パスワードの確認(C):	******			
ステータス: WIN-O6AI942RTQJ	の設定を取得してい	ます。		

 パスワードを有効にする - Faronics Core Agent をローカルでアンインストールするために 必要なパスワードを指定します。[新しいパスワード]と[パスワードの確認]の値を指定 します。これにより、ワークステーションから無許可で Faronics Core Agent を削除でき ないようになります。



Faronics Core Console 2.x から Faronics Core 3.0 へのアップグレー

ド

Faronics Core Console 2.x から Faronics Core 3.0 に直接アップグレードすることはできません。 Faronics Core 3.0 は、Faronics Core Console 2.x とともにインストールされます。

Faronics Core Console 2.x から Faronics Core 3.0 への移行については、*www.faronics.com/library* からダウンロードできる『Faronics Core Migration White Paper (Faronics Core の移行に関する ホワイトペーパー)』を参照してください。



Faronics Core Agent のアップグレード

Faronics Core Agent をアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 台以上のワークステーションを右クリックし、[Faronics Core] > [Faronics Core Agent のアッ プグレード]を選択します。[OK] をクリックします。
- Faronics Core Agent を設定します。再起動を避けるために、[Faronics Core Agent をインストール後にワークステーションを再起動しない]チェックボックスを選択します。[次へ]をクリックします。
- 3. [今すぐ]または[後で]を選択します。
- 4. [完了]をクリックします。



Faronics Core Agent は、設定された Faronics Core Server にのみレポートできま す。Faronics Core Agent のレポート先である Faronics Core Server を変更するに は、新しいFaronics Core Server の資格情報を使って、新しいFaronics Core Agent を作成する必要があります。これまでのFaronics Core Agentはアンインストール し、新しいFaronics Core Agentをインストールします。





Faronics Core のアンインストール

本章では、Faronics Core とそのコンポーネントのアンインストールについて説明します。

トピック

ワークステーションから Faronics Core Agent のアンインストール インストーラを使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のアンインストール [プログラムの追加と削除]を使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のア ンインストール

Faronics Core Console のアンインストール(データベースを含む)



ワークステーションから Faronics Core Agent のアンインストール

Faronics Core Agent がアンインストールされた後は、ワークステーションと Faronics Core Console 間の通信はできません。Faronics Core Agent は、次の 2 つの方法でアンインストールできます。

Faronics Core Console を使ったアンインストール

Faronics Core Agent を削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [Core_Server_Name] をクリックします。
- 2. ワークステーションリストで1台以上のワークステーションを選択します。
- 3. 右クリックして、[ワークステーションの構成]>[Faronics Core Agent のアンインストール]
 を選択します。

ワークステーションでローカルでのアンインストール

Faronics Core Agent をワークステーション上でローカルに削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタート]>[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2. [プログラムの追加と削除]> [Faronics Core Agent]> [削除]の順に選択します。



Product Loadin のワークステーションクライアントをアンインストールせずに Faronics Core Agent をアンインストールすることはできません。





インストーラを使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のアンインストール

Faronics Core Console および Faronics Core Server は、インストーラを使ってアンインストール できます。アンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. FaronicsCore.exe をダブルクリックします。
- 2. [次へ]をクリックします。[削除]をクリックします。
- 3. Faronics Core Console と Faronics Core Server がコンピュータから削除されます。



複数の Core Server がある場合、Faronics Core Server ごとにアンインストールを 行います。



[プログラムの追加と削除] を使った Faronics Core Console と Faronics Core Server のアンインストール

Faronics Core Console と Faronics Core Server は、[プログラムの追加と削除] を使って、アン インストールすることができます。アンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. [スタート]>[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2. [プログラムの追加と削除]> [Faronics Enterprise Console 3]> [削除]の順に選択します。
- 3. コンピュータから Faronics Core Console が削除されます。



複数の Core Server がある場合、Faronics Core Server ごとにアンインストールを 行います。



[プログラムの追加と削除]を使って、Faronics Core Console をアンインストー ルすると、データベースは削除されません。Faronics Core Console のアンインス トール方法およびデータベースの削除方法は、「Faronics Core Console のアンイ ンストール(データベースを含む)」のセクションを参照してください。


Faronics Core Console のアンインストール (データベースを含む)

Faronics Core Console、Faronics Core Server、およびこれまで作成したすべてのデータベースエントリ、レポートアカウント、Faronics Core Console データを完全に削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタート]>[コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2. [プログラムの追加と削除]> [Faronics Core 3]> [変更]の順に選択します。
- 3. 次のダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。



4. 次のダイアログが表示されます。[削除]を選択して、[次へ]をクリックします。



5. ダイアログが表示され、現在のデータベースを残しておくか、削除するかを尋ねられます。 データベースを削除するには、[いいえ]をクリックします。





6. [削除]をクリックします。Faronics Core Console とデータベースがコンピュータから削除されます。

😸 Faronics Core 3 - InstallShield Wizard		
プログラムの削除 ご使用のシステムからプログラムを削除す	るオプションを選択しました。	
設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックします。		
InstallShield	ハーション 3.30.2100.1941	
	< 戻る(B) 削除(R) キャンセル	

7. [完了]をクリックして、ダイアログを閉じます。





単一のサブネット、単一の Faronics Core Server

次の図は、単一のサブネットと単一の Faronics Core Server を実行している Faronics Core のアー キテクチャを示しています。



上記のアーキテクチャには次のコンポーネントがあります。

- Faronics Core Server このセットアップで使われる唯一のFaronics Core Server です。
- Faronics Core Console 複数のCore Consoleが1台のCore Severに接続しています。
- Faronics Core Database データベースは1つだけです。
- Faronics Core Agent Faronics Core Agentがインストールされた複数のワークステーション があります。

複数の Core Agent から Faronics Core Server にレポートされます。Core Sever は、Faronics Core Console 1 と Faronics Core Console 2 を使って管理されます。Faronics Core Server は、ワークス テーションについての全情報をデータベースに保存します。





次の図は、単一のサブネットと複数の Core Server を実行している Faronics Core のアーキテク チャを示しています。



上記のアーキテクチャには次のコンポーネントがあります。

- Faronics Core Server このセットアップで使われる2台のCore Serverです。
- Faronics Core Console 複数のCore Consoleが両方のCore Severに接続しています。
- Database データベースは1つだけです。
- Faronics Core Agent Faronics Core Agent がインストールされた複数のワークステーション があります。

複数の Core Agent から、Core Agent の設定先である Faronics Core Server にレポートされます。 Core Sever は、Faronics Core Console 1 と Faronics Core Console 2 を使って管理されます。Faronics Core Console 1 と Faronics Core Console 2 からは、Faronics Core Server 1 と Faronics Core Server 2 を管理できます。Faronics Core Server 1 と Faronics Core Server 2 は、ワークステーションにつ いての情報をデータベースに保存します。 **114** 付録 B 単一のサブネット、複数の Core Server





複数のサブネット、複数の Core Server

次の図は、単一のサブネットと複数の Faronics Core Server を実行している Faronics Core のアー キテクチャを示しています。



上記のアーキテクチャには次のコンポーネントがあります。

- Faronics Core Server このセットアップには Faronics Core Server 1 と Faronics Core Server 2 という2台の Faronics Core Server があります。
- Faronics Core Console 複数のCore Consoleが両方のCore Severに接続しています。Faronics Core Console 1、Faronics Core Console 2、およびFaronics Core Console 3。
- Database 1つのサブネットに1つのデータベースがあり、合計2つのデータベースがあります。
- Faronics Core Agent Faronics Core Agent がインストールされた複数のワークステーション があります。

サブネット 1: 複数の Core Agent から Faronics Core Server 1 にレポートされます。Core Sever は Faronics Core Console 1 から管理されます。Faronics Core Server 1 は Database 1 にワークステー ションについての情報を保存します。

サブネット 2: 複数の Core Agent から Faronics Core Server 2 にレポートされます。Core Sever は Faronics Core Console 2 から管理されます。Faronics Core Server 2 は Database 2 にワークステー ションについての情報を保存します。

Faronics Core Console 3 は Faronics Core Server 1 と Faronics Core Server 2 の両方に接続でき、サ ブネット 1 とサブネット 2 にあるワークステーションを管理します。



付録 D カスタムのワークステーショングループのための 文節エディタ

文節エディタでは、複数のパラメータを設定してワークステーションを異なるグループにソー トできます。この付録では、文節エディタについて詳しく説明します。

🖳 文節エディタ			— ×
文節の編集			
J74:	比重交:	値:	
IP アドレス	▼ 一致	▼ 192.168.1.5	
	□ バージョン		
		と字の区別	
	📃 単語単位		
		ОК	キャンセル

文節を定義するには、次の手順を実行します。

- 1. [カラム]を選択します。
- 2. [比較]を選択します。
- 3. [オプション]を選択します。
- 4. 値または正規表現を指定します。

次の表は、カラム、比較、オプション、値を示しています。

カラムの選択	比較の選択	オプションの選択	値または正規表現の指定
アクティブタスク	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
IP アドレス	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
最後のエージェントイ ベント	一致	バージョン	値または正規表現を指定し ます。
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	
	正規表現に一致	単語単位	



カラムの選択	比較の選択	オプションの選択	値または正規表現の指定
最後のエージェントイ	発生	絶対日付	日付を選択してください。
ベント時間	発生しない	相対日付	
	後に発生		
	特定の日以降に発生		
	前に発生		
	特定の日以前に発生		
MAC アドレス	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
注意	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
注意作成済み	発生	絶対日付	日付を選択してください。
	発生しない	相対日付	
	後に発生		
	特定の日以降に発生		
	前に発生		
	特定の日以前に発生		
OS の種類	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
ステータス	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	



カラムの選択	比較の選択	オプションの選択	値または正規表現の指定
バージョン	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
ワークステーション	一致	バージョン	値または正規表現を指定し
	一致しない	大文字 / 小文字の区別	ます。
	正規表現に一致	単語単位	
ワークステーション	等しい		数値を指定します。
ポート	等しくない		
	大きい		
	以上		
	未満		
	以下		

正規表現

文節エディタにより、文字に一致する正規表現を使用できます。 次の表は、文節エディタで使用できる正規表現のいくつかです。

メタ文字	説明
	1 つの文字に一致します (多くのアプリケーションが改行文字を除 外し、どの文字が改行であるかは、フレーバー、文字エンコーディ ング、およびプラットフォームによって異なります。ラインフィー ド文字は改行に含まれていると想定できます)。POSIX ブラケット 表現内で、ドット文字はリテラルのドットに一致します。たとえ ば、a.c は「abc」などに一致しますが、[a.c] は「a」、「.」、または 「c」のみに一致します。



メタ文字	。 <mark>説明</mark>
[]	ブラケット表現。ブラケット内の 1 文字に一致します。たとえば、 [abc] は「a」、「b」、または「c」に一致します。[a-z] は範囲を示 し、小文字の「a」から「z」に一致します。この形式は混在させる ことができます。[abcx-z] は [a-cx-z] と同様に「a」、「b」、「c」、 「x」、「y」、または「z」に一致します。
	The - character is treated as a literal character if it is the last or the first (after the ^) character within the brackets: [abc-], [-abc]. バック スラッシュエスケープは使用できません。The] character can be included in a bracket expression if it is the first (after the ^) character: []abc].
[^]	ブラケットに含まれていない 1 文字に一致します。たとえば、 [^abc] は「a」、「b」、または「c」以外の文字に一致します。[^a-z] は小文字の「a」から「z」以外の 1 文字に一致します。同様にリテ ラル文字と範囲を混在させることができます。
٨	文字列の開始位置に一致します。行ベースのツールでは、行の開始 位置に一致します。
\$	文字列の終了位置または文字列を終了する改行の1つ前の位置に一 致します。行べースのツールでは、行の終了位置に一致します。

(Source: http://en.wikipedia.org/wiki/Regular_expression)

文節エディタの正規表現の例

正規表現は次の方法で使用できます。

目的	構文
IP アドレスの範囲が 192.168.1.1 ~ 192.168.1.9 のワークステーションの検 索。	IP アドレスは、^192\.168\.1\.([1-9])\$ という正 規表現に一致します。
名前の 6 番目の文字が L または N で、そ の次の文字がダッシュのワークステー ションをネットワークで検索。	ワークステーションは、[LN]* という正規 表現に一致します。
「a」で終わる名前のワークステーション をネットワークで検索。	ワークステーションは、.*a\$ という正規表現に 一致します。
「m」で始まる名前のワークステーション をネットワークで検索。	ワークステーションは、^m という正規表現に 一致します。



	146.1
目的	構文
名前に「-t」が含まれるワークステー ションをネットワークで検索。	ワークステーションは、.*-t.* という正規表現に 一致します。
名前に 3 文字のプレフィックスがついて いるワークステーションをネットワーク で検索。	ワークステーションは、^\$ という正規表現に一 致します。
名前にワイルドカード文字を使ってワー クステーションをネットワークで検索。 この表現は最後が「og」という文字で終 わる名前を検索します。	ワークステーションは、^.*og\$ という正規表現 に一致します。
最後のエージェントイベントが空白の ワークステーションをネットワークで検 索。	最後のエージェントイベントは、^\$ という正規 表現に一致します。